

名古屋芸術大学

後援会報

第49号 2010年9月30日発行

## CONTENTS

---

1	目次
2	ごあいさつ
3	後援会定期総会報告 前年度事業報告・今年度事業計画
4	新役員・委員一覧
5	2009年度 後援会決算報告
7	2010年度 後援会予算書
9	教育懇談会および学生部報告 2010年度 学生数
10	名古屋芸術大学近況報告
17	年間行事予定表
20	2010年度 入学式 大学へのお問合せ一覧
21	2009年度 授業評価アンケート報告
22	音楽学部主催による演奏会のご案内
23	就職セミナーのご紹介
26	各学部進路状況
27	先輩の活躍
29	ブライトン大学ディグリーショー参加報告
31	国際交流紹介
32	クラブ・同好会紹介
33	親の想い
34	子の想い
35	トピックス ピックアップ
37	アート&デザインセンター展覧会スケジュール
38	後援会授業料貸付事業のご紹介
39	名古屋芸術大学後援会会則
40	学校法人名古屋自由学院決算報告
41	大学運営組織図
42	木祖セミナーハウスのご紹介 編集後記

## ごあいさつ



後援会長  
澤 達彦

新一年生の皆さんが桜の満開の下、希望に満ちて名古屋芸術大学の門をくぐって半年近くが過ぎようとしております。

本学は東海地区唯一の美術学部、音楽学部、デザイン学部、人間発達学部の4学部を持つユニークな大学です。また美術・デザイン両学部が西キャンパス、音楽・人間発達両学部が東キャンパスと離れておりますが、一人当たりの教職員の数が他大学に比べ多く、大変密度の濃い授業とご指導及び教育履修のフォローがなされており、授業料が他の文系私大に比べ若干高いのもうなずけるものがあります。

皆さんは、それぞれの進路、専門の分野を目指して入学され、少し学生生活にも慣れたところだと思われそうですが、最適希望の学部、学科ではなかった方もおられるかもしれません。大学の中でもいろいろな学部、学科がありますので、他の学科の学生さんから話を聞かれ、他の専攻にも興味を持ってください。

また、部活動、サークル活動など様々な活動の中から沢山の友達を作ってください。愛知県内の他大との連携を行う団体もあります。学生としての一番の特権は、自由な時間を一番やりたいことに打ち込むことではないかと思えます。昨今の経済情勢からアルバイトで学費の足しにと頑張っておられる学生さんもみえるかと思いますが、この4年間は、何度でも自分の方向性の軌道修正ができる期間であると思えます。そのために、他校に負けない豊富な専任教員陣と事務局スタッフが控えております。

気軽に相談を求めれば、きっと、きっかけとなるアドバイスがいただけるものと思えます。

後援会は学生の皆さんと大学の教職員さんとの円滑な橋渡しができるように、今後も少しでも皆さんのお力になれるように研鑽し、活動してまいりますのでよろしく願いいたします。



学 長  
竹本義明

名古屋芸術大学後援会の皆様には、日頃から本学の教育環境の向上にご協力を賜り、心から感謝申し上げます。大学の教育は、大学内だけにとどまらず保護者の皆様との連携があつてこそ、より効果的な教育が実現すると考えており、今後とも保護者の皆様のご支援、ご協力をお願い申し上げます。

さて、名古屋芸術大学は、今年創立40周年を迎えることになりました。音楽学部、美術学部、そしてデザイン学部に、短期大学から引き継いだ人間発達学部が完成年度を迎え4学部体制が整い、さらに大学院人間発達学研究科の平成23年度開設に向け申請を行っております。

大学を取り巻く状況が年を追う毎に厳しくなるなか、本学は、出来るだけ質の高い教育の提供を心がけ、学生一人一人の夢を実現できる大学づくりに努力しています。具体的には、今年度から全学的な教育改革に取り組み、2012年度からスタート出来るよう計画を立てています。

教育改革の内容は、芸術系学部と教育・保育系学部に通ずる人間教育をベースとし、専門性と学際制を重視した新しい共通カリキュラムの構築です。教養科目に専門基礎科目を加えた複数の学問分野を全学共通カリキュラムとし、基礎的な専門科目は1・2年生で学び、3・4年生で高度な専門性の探求を可能とする内容とします。

現在は、入学時に自らの将来について、明確な意思を明らかに出来ない学生が多く、多様な価値観を絞る事が出来ません。そのような進路に対する悩みについて、将来の目的や、どんな分野で働くのか明確に意識出来るよう、教職員のきめ細かな学生対応により、進路指導及び就職指導を効果あるもの出来るよう、取り組むこととします。

## 2010年度 名古屋芸術大学後援会 定期総会

2010年5月23日(日) 13時より、西キャンパス B棟 2階 大講義室にて、「2010年度名古屋芸術大学後援会定期総会」が開催されました。定期総会終了後には、例年通り大学の主催で「教育懇談会」が開催され、各学部に分かれた会場内では、活発な質問、意見交換がされました。

### 2009年度 名古屋芸術大学後援会事業報告

月日	事業内容	開催場所
5月17日	2009年度後援会定期総会事前打合せ 2009年度後援会定期総会	東キャンパス
6月1日	法人より委託徴収金振替 前期分	
6月2日 ～6日	イギリス ブライトン大学ディグリーショー 後援会後藤副会長他大学関係者参加	イギリス
6月15日	後援会より補助金各学部一括交付	
6月27日	第1回役員会(所属委員会決定)	名古屋駅
7月11日	第2回役員・委員会 (後援会報編集方針/研修旅行企画)	西キャンパス
9月30日	名古屋芸術大学後援会報第47号発行	
10月17日 ～18日	後援会研修旅行 1泊2日 伊豆方面:MOA美術館、21世紀美術館	
10月31日	第3回役員・委員会(顧問含む) 芸大祭参加	西キャンパス
11月25日	法人より委託徴収金振替 後期分	
1月16日	第4回役員・委員会(後援会報編集方針)	金山
2月20日	第5回役員・委員会(次年度役員案作成)	西キャンパス
3月5日	ブライトン大学賞表彰式 (会長・副会長(総務委員長))	名古屋東急ホテル
3月20日	卒業式参列 (会長・副会長(総務委員長))	中京大学 文化市民会館
3月20日	謝恩会出席(会長・役員)	全日空ホテル
3月31日	名古屋芸術大学後援会報第48号発行	
4月5日	入学式参列 (2009年度会長、副会長(総務委員長))	西キャンパス
4月20日	2009年度会計監査(2009年度監査2名)	西キャンパス
4月24日	第6回役員会(定期総会準備他)	名古屋駅
備考	以上のほかにも、後援会後援公開講座、就職活動補助事業、国際交流補助事業、施設・設備補助事業、授業料貸付事業等行いました。	



### 2010年度 名古屋芸術大学後援会事業計画

月日	事業内容	開催場所
5月23日	2010年度後援会定期総会事前打合せ 2010年度後援会定期総会	西キャンパス
5月下旬	法人より委託徴収金振替 前期分	
6月上旬	イギリス ブライトン大学ディグリーショー 後援会後藤副会長他大学関係者参加	イギリス
6月上旬	後援会より補助金各学部一括交付	
6月26日	第1回役員会(所属委員会決定)	
7月17日	第2回役員・委員会 (後援会報編集方針/研修旅行企画)	東キャンパス
9月下旬	名古屋芸術大学後援会報第49号発行	
10月17日 ～18日	後援会研修旅行 1泊2日	
10月30日	第3回役員・委員会(顧問含む) 芸大祭参加	西キャンパス
11月中旬	法人より委託徴収金振替 後期分	
1月15日	第4回役員・委員会(後援会報編集方針)	
2月19日	第5回役員・委員会(次年度役員案作成)	東キャンパス
3月上旬	ブライトン大学賞表彰式 (会長・副会長(総務委員長))	
3月23日	卒業式参列 (会長・副会長(総務委員長))	中京大学 文化市民会館
3月23日	謝恩会出席(会長・役員)	
3月31日	名古屋芸術大学後援会報第50号発行	
4月上旬	入学式参列 (210年度会長、副会長(総務委員長))	西キャンパス
4月中旬	2010年度会計監査(2010年度監査2名)	西キャンパス
4月下旬	第6回役員会(定期総会準備他)	
備考	以上のほかにも、後援会後援公開講座、就職活動補助事業、国際交流補助事業、施設・設備補助事業、授業料貸付事業等行う予定です。	



## ■2010年度 名古屋芸術大学後援会 役員・委員一覧

通番	役職名	氏名	学部
1	会長	澤 達彦	美術学部
2	副会長(総務委員長)	河村 正子	人間発達学部
3	副会長(事業委員長)	佐藤 俊明	デザイン学部
4	副会長(広報委員長)	原田 昌央	美術学部
5	副会長(会計)	大竹 百合子	人間発達学部
6	会計監査	早川 英津子	人間発達学部
7	会計監査	山下 智春	人間発達学部
8	書記	臼井 貴子	音楽学部
9	書記	水野 和美	美術学部
10	会計	佐藤 佳子	音楽学部
11	監事	菅沼 行夫	美術学部
12	総務副委員長	渡邊 好子	人間発達学部
13	総務副委員長	五島 和江	人間発達学部
14	総務委員	森崎 修	美術学部
15	総務委員	多田 聡子	美術学部
16	総務委員	富田 知彦	人間発達学部
17	総務委員	萩 達也	音楽学部

通番	役職名	氏名	学部
18	事業副委員長	古澤 悦子	美術学部
19	事業副委員長	内海 珠美	人間発達学部
20	事業委員	加古 富雄	デザイン学部
21	事業委員	森岡 優子	美術学部
22	事業委員	真野 久美子	美術学部
23	事業委員	角前 成子	人間発達学部
24	事業委員	真野 由夏	人間発達学部
25	広報副委員長	松林 さとみ	音楽学部
26	広報副委員長	長尾 恵利世	人間発達学部
27	広報委員	安藤 孝子	美術学部
28	広報委員	片山 みゆき	美術学部
29	広報委員	飯田 康子	美術学部
30	広報委員	月森 為之	音楽学部



全議題は、賛成多数で承認されました。また最後に役員を退任された方に対して、大学より感謝状が贈呈されました。退任された方々は、後藤さん、磯野さん、三輪さん、馬場さんの4名の方々です。長年に渡って、本当にありがとうございました。



## ■2009年度 名古屋芸術大学後援会 決算書

### 1. 一般会計

2009. 4. 1～2010. 3. 31 単位：円

#### 収入の部

	予 算	決 算	差 異	備 考
前年度繰越金	7,849,821	7,849,821	0	
会 費 収 入	29,000,000	28,874,000	126,000	
特別会計より組入	300,000	300,000	0	福祉基金会計からの 資金移動
受 取 利 息	25,000	5,538	19,462	
手数料他収入	200,000	153,970	46,030	手数料等
合 計	37,374,821	37,183,329	191,492	

#### 支出の部

	予 算	決 算	差 異	備 考
通 信 費	600,000	322,991	277,009	
旅 費・交通費	400,000	208,580	191,420	
会 議 費	550,000	474,764	75,236	
事務費・用品費	220,000	195,090	24,910	振込手数料を含む
弔 慰 費	100,000	25,000	75,000	
渉 外 費	700,000	460,500	239,500	チケット代、 役員手当て
事務職員人件費	750,000	703,836	46,164	
<b>(総務関係合計)</b>	<b>3,320,000</b>	<b>2,390,761</b>	<b>929,239</b>	
芸大祭補助	3,700,000	3,700,000	0	
クラブ補助	7,600,000	7,600,000	0	
就職活動補助	5,000,550	4,494,660	505,890	
謝恩会補助	1,000,000	1,000,000	0	
学生自治会補助	600,000	600,000	0	
国際交流補助	1,059,235	795,870	263,365	
公開講座補助	9,178,338	3,606,354	5,571,984	
施設・設備補助	946,206	847,892	98,314	
福祉事業補助	860,685	0	860,685	
学費貸付金資金振替	0	0	0	
教員・役員研修費補助	800,000	681,588	118,412	研修費補助金
<b>(事業関係合計)</b>	<b>30,745,014</b>	<b>23,326,364</b>	<b>7,418,650</b>	
広報活動	1,500,000	1,017,660	482,340	広報誌・封筒
広報誌郵送料	500,000	417,008	82,992	
広報誌手数料	60,000	32,775	27,225	発送アルバイト代
<b>(広報関係合計)</b>	<b>2,060,000</b>	<b>1,467,443</b>	<b>592,557</b>	
予 備 費	1,249,807	0	1,249,807	
次年度繰越	0	9,998,761	-9,998,761	
総 合 計	37,374,821	37,183,329	191,492	

## 2. 特別会計決算書

### (1) 特別積立金会計

#### 収入の部

単位：円

	科目	予算	決算	差異	備考
1	前年度繰越金	4,023,116	4,023,116	0	
2	雑収入	1,000	13,687	-12,687	
3	合計	4,024,116	4,036,803	-12,687	

#### 支出の部

単位：円

	科目	予算	決算	差異	備考
4	特別積立金事業計画	0	0	0	
5	次年度繰越金	4,024,116	4,036,803	-12,687	
6	合計	4,024,116	4,036,803	-12,687	

### (2) 学費貸付金会計

#### 収入の部

単位：円

	科目	予算	決算	差異	備考
7	前年度繰越金	9,788,798	9,788,798	0	
8	一般会計より資金繰入	0	0	0	
9	学生貸付金返済金	3,500,000	1,881,970	1,618,030	
10	雑収入	10,000	2,289	7,711	
11	合計	13,298,798	11,673,057	1,625,741	

#### 支出の部

単位：円

	科目	予算	決算	差異	備考
12	学生貸付金	6,000,000	8,010,000	-2,010,000	
13	予備費	7,298,798	0	7,298,798	
14	次年度繰越金	0	3,663,057	-3,663,057	
15	合計	13,298,798	11,673,057	1,625,741	

### (3) 福祉基金会計

#### 収入の部

単位：円

	科目	予算	決算	差異	備考
16	前年度繰越金	397,458	397,458	0	
17	雑収入	400	54	346	
18	合計	397,858	397,512	346	

#### 支出の部

単位：円

	科目	予算	決算	差異	備考
19	一般会計に組入	300,000	300,000	0	福祉事業補助へ組入
20	次年度繰越金	97,858	97,512	346	
21	合計	397,858	397,512	346	

### (4) 学生生活基金会計

#### 収入の部

単位：円

	科目	予算	決算	差異	備考
22	前年度繰越金	2,131,260	2,131,260	0	
23	雑収入	2,000	680	1,320	
24	合計	2,133,260	2,131,940	1,320	

#### 支出の部

単位：円

	科目	予算	決算	差異	備考
25	講演会、パンフレット作成	350,000	0	350,000	
26	次年度繰越金	1,783,260	2,131,940	-348,680	
27	合計	2,133,260	2,131,940	1,320	

## ■2010年度 名古屋芸術大学後援会 予算書

### 1. 一般会計

2010. 4. 1～2011. 3. 31 単位：円

#### 収入の部

	2010年度 予算	2009年度 予算	差異	備考
前年度繰越金	9,998,761	7,849,821	2,148,940	
会費収入	29,000,000	29,000,000	0	
特別会計より組入	97,512	300,000	-202,488	福祉基金会計からの 資金移動
受取利息	5,000	25,000	-20,000	
手数料他収入	0	200,000	-200,000	手数料等
<b>合計</b>	<b>39,101,273</b>	<b>37,374,821</b>	<b>1,726,452</b>	

#### 支出の部

	2010年度 予算	2009年度 予算	差異	備考
通信費	400,000	600,000	-200,000	
旅費・交通費	300,000	400,000	-100,000	
会議費	500,000	550,000	-50,000	
事務費・用品費	200,000	220,000	-20,000	振込手数料を含む
弔慰費	100,000	100,000	0	
渉外費	500,000	700,000	-200,000	チケット代、 役員手当て
事務職員人件費	750,000	750,000	0	
<b>(総務関係合計)</b>	<b>2,750,000</b>	<b>3,320,000</b>	<b>-570,000</b>	
芸大祭補助	3,800,000	3,700,000	100,000	
クラブ補助	7,800,000	7,600,000	200,000	前年度繰越金含む
就職活動補助	5,005,890	5,000,550	5,340	前年度繰越金含む
謝恩会補助	1,000,000	1,000,000	0	
学生自治会補助	600,000	600,000	0	
国際交流補助	1,000,000	1,059,235	-59,235	前年度繰越金含む
公開講座補助	9,628,290	9,178,338	449,952	前年度繰越金含む
施設・設備補助	948,314	946,206	2,108	前年度繰越金含む
福祉事業補助	860,685	860,685	0	
学費貸付金資金振替	2,000,000	0	2,000,000	
教員・役員研修費補助	800,000	800,000	0	研修費補助金
<b>(事業関係合計)</b>	<b>33,443,179</b>	<b>30,745,014</b>	<b>2,698,165</b>	
広報活動	1,200,000	1,500,000	-300,000	広報誌・封筒(大・小)
広報誌郵送料	500,000	500,000	0	
広報誌手数料	50,000	60,000	-10,000	アルバイト代
<b>(広報関係合計)</b>	<b>1,750,000</b>	<b>2,060,000</b>	<b>-310,000</b>	
予備費	1,158,094	1,249,807	-91,713	
<b>総合計</b>	<b>39,101,273</b>	<b>37,374,821</b>	<b>1,726,452</b>	

## 2. 特別会計予算書

### (1) 特別積立金会計

#### 収入の部

単位：円

	科 目	2010年度 予算	2009年度 予算	差 異	備 考
1	前年度繰越金	4,036,803	4,023,116	0	
2	雑収入	0	1,000	-1,000	
3	合 計	4,036,803	4,024,116	12,687	

#### 支出の部

単位：円

	科 目	2010年度 予算	2009年度 予算	差 異	備 考
4	特別積立金事業計画	4,036,803	0	4,036,803	学費貸付金に組入
5	次年度繰越金	0	4,024,116	-4,024,116	
6	合 計	4,036,803	4,024,116	12,687	

### (2) 学費貸付金会計

#### 収入の部

単位：円

	科 目	2010年度 予算	2009年度 予算	差 異	備 考
7	前年度繰越金	3,663,057	9,788,798	-6,125,741	
8	一般会計より資金繰入	2,000,000	0	2,000,000	
9	特別会計より資金繰入	4,036,803	0	4,036,803	
10	学生貸付金返済金	2,000,000	3,500,000	-1,500,000	
11	雑収入	10,000	10,000	0	
12	合 計	11,709,860	13,298,798	-1,588,938	

#### 支出の部

単位：円

	科 目	2010年度 予算	2009年度 予算	差 異	備 考
13	学 生 貸 付 金	10,000,000	6,000,000	4,000,000	
14	予 備 費	1,709,860	7,298,798	-5,588,938	
15	合 計	11,709,860	13,298,798	-1,588,938	

### (3) 福祉基金会計

#### 収入の部

単位：円

	科 目	2010年度 予算	2009年度 予算	差 異	備 考
16	前年度繰越金	97,512	397,458	-299,946	
17	雑収入	0	400	-400	
18	合 計	97,512	397,858	-300,346	

#### 支出の部

単位：円

	科 目	2010年度 予算	2009年度 予算	差 異	備 考
19	一般会計に組入	97,512	300,000	-202,488	
20	次年度繰越金	0	97,858	-97,858	
21	合 計	97,512	397,858	-300,346	

### (4) 学生生活基金会計

#### 収入の部

単位：円

	科 目	2010年度 予算	2009年度 予算	差 異	備 考
22	前年度繰越金	2,131,940	2,131,260	680	
23	雑収入	2,000	2,000	0	
24	合 計	2,133,940	2,133,260	680	

#### 支出の部

単位：円

	科 目	2010年度 予算	2009年度 予算	差 異	備 考
25	講演会、パンフレット作成	350,000	350,000	0	
26	次年度繰越金	1,783,940	1,783,260	680	
27	合 計	2,133,940	2,133,260	680	

## 2010年度 教育懇談会および 学生部報告

学生部長 菅嶋康浩

5月23日(日)に西キャンパスにおきまして2010年度後援会定期総会終了後に名古屋芸術大学教育懇談会を開催し、多数の保護者の皆様にご出席をいただきました。心より厚くお礼申し上げます。

開会に先立ち、お子様が大学で日ごろのような活動をしているかをお分かりいただけるように、授業風景や活動の場面をスライドにしてスクリーンに映させていただきました。総会では、まず全体会で橋本裕明副学長よりご挨拶と名古屋芸術大学の近況報告が行われました。その中で、「大学は学生に質の高い高等教育を提供することが求められており、その評価システムを確立することが急務となってきている。本学もそうした状況下で外部評価を受審している最中である。」との説明があり、今後本学が大学教育の質保証を確保していくよう、より一層の努力を行っていく旨報告がありました。

続いて、私より学生部報告として新年度を迎えてから約1カ月、現在のお子様のご様子を紹介いたしました。

その中で、昨年度の本学の厳しい就職状況についてご紹介いたしました。わが国の経済不況の影響がまだ続いており、5月1日時点での2009年度卒業生の就職・進学希望者の就職・進学率は、音楽学部で86.0%、美術学部およびデザイン学部で69.4%と2008年度よりそれぞれ約5%減少した結果となりました。今年度の大学生の就職状況は、一層厳しい状況であることは報道等でもすでに取り上げられており、大学ではさらなる就職支援の強化を大学全体で取り組んでいくことを申し上げました。

その後、各学部に分かれて教育懇談が実施され、個別具体的なお質問ご相談等を受けさせていただきました。さらに施設見学会を実施させていただきました。特に学部懇談会では保護者様から就職に関するご質問ご相談を多数いただきました。

これらのご相談ご要望等に対し、大学はさらなる就職支援の強化を大学全体で取り組むよう努めてまいります。学生支援課では就職対策および資格取得の講座の実施、求人情報の提供に加え、就業体験や適正職業を見つけるのに有効なインターンシップの提供、人間発達学部では、教員採用試験および公務員試験対策講座の実施、小学校、保育所および幼稚園志望者に対する特別講座の提供などの就職支援を行っております。さらには企業説明会も行っております。お子様に対し保護者の皆様からお声掛けいただけますようお願い申し上げます。

### ■2010年度学生数

2010年5月1日現在

学 部	学 科	1年			2年			3年			4年			合計
		男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	
音 楽 学 部	演 奏 学 科	14	56	70	11	71	82	7	63	70	10	73	83	305
	音楽文化創造学科	35	58	93	35	59	94	35	56	91	33	68	101	379
	音楽学部小合計	49	114	163	46	130	176	42	119	161	43	141	184	684
美 術 学 部	美 術 学 科	22	108	130	29	107	136	16	91	107	0	0	0	373
	絵画科 日本画	0	0	0	0	2	2	0	0	0	2	24	26	28
	絵画科 洋画	0	0	0	0	0	0	1	1	2	19	39	58	60
	造 形 学 科	0	0	0	1	0	1	1	0	1	11	16	27	29
	美術文化学科	0	0	0	0	0	0	0	1	1	4	7	11	12
	美術学部小合計	22	108	130	30	109	139	18	93	111	36	86	122	502
デザイン学部	デザイン学科	50	134	184	47	145	192	51	118	169	56	153	209	754
	デザイン学部小合計	50	134	184	47	145	192	51	118	169	56	153	209	754
人間発達学部	子ども発達学科	33	92	125	37	92	129	31	124	155	50	113	163	572
	子ども発達学科小合計	33	92	125	37	92	129	31	124	155	50	113	163	572
学 部 生 合 計		154	448	602	160	476	636	142	454	596	185	493	678	2512

研 究 科	1年			2年			合計
	男	女	計	男	女	計	
美 術 研 究 科	9	24	33	5	17	22	55
デ ザ イ ン 研 究 科	1	3	4	2	1	3	7
音 楽 研 究 科	4	12	16	3	7	10	26
大 学 院 生 合 計	14	39	53	10	25	35	88

総学生数 2,600人

# 名古屋芸術大学近況報告

## 音楽学部

### 《演奏学科》

#### 声楽コース

今年の夏は異常に暑く、名鉄名古屋大駅から東キャンパスを歩くわずかな距離にこんなにも苦痛を感じたことは始めてでした。さて大学内に入りますと学生寮の取り壊し工事が行われていてかなりの騒音でこれも何がしか暑苦しさを増大させます。こんな悪条件の中、学生たちは明るく元気な姿を見せてくれます。今年もあつという間に前期が終わりました。1年生はフレッシュに、2年生はかなり大学生生活に馴染んだ様子で、3年生はまさに大人の雰囲気が出て、4年生は少し貫禄がついたそぶりを見せそれぞれに充実した学生生活を送っている様子が伺えます。2年前から招聘したマルチェッラ・レアーレ教授と時々学生の実技レッスンの話をします。まず先生は“学生たちはとてもいい、時々泣くけど頑張っているし、伸びてきている”とにこやかに話してくれます。我々教員は学生が“伸びてきている”とかいう成長を意味する言葉を交わす時が一番うれしい。特に外人教師からの指摘は重みを増します。

さて今年の音楽学部では単年度予算での大きな事業としてオペラ公演があります。そのため声楽コースが主体となってその事業を行います。2011年2月19日(土)、20日(日)の2日間に渡り、名古屋芸術創造センターにてモーツァルト作曲の「フィガロの結婚」を上演します。1日目は院生、2日目は学部生を中心としてこれに教員、卒業生などが加わっての本格的オペラです。指揮は韓国、慶南大学からの推薦で馬山交響楽団の常任指揮者である Jinhyoun Baek 先生、演出は筆者の澤脇で行います。コンセプトはモダンでクラシカルなフィガロです。予算が合えば今流行りのCGを使おうかと思っています。本学のオペラは大学オペラとは思えないくらい凄いという公演が売り物です。今年の学生たちも大変な意気込みで相当熱が入っています。どうぞご期待下さい。

声楽コース 教授 澤脇達晴

#### 弦管打・バンドディレクターコース

ウィンドオーケストラでは、9月27日(月)客員教授ヤン・ヴァンデルロースト先生と竹内雅一先生の指揮、ユーフォニアムの幡野武先生をソリストに、第29回定期演奏会が催されます。

オーケストラの定期演奏会は、今年大学創立40周年ということで、指揮の古谷誠一先生が、演奏学科一体となる様ヴェートーヴェンの第9番を合唱つきで行われます。ソリストは全て教員で、熱く燃える演奏会になりそうです。

アンサンブル研究所では、8月4日(水)NUAストリングス第3回演奏会が催され、モーツァルトのシンフォニーコンチェルトンテに2つのオーボエ、2つのホルンが加わり弦管打の願いとするOBオーケストラ設立の夢がふくらみました。演奏会では、卒業しても頑張っているという実感できる良い音色に感激しました。

弦管打・バンドディレクターコース 教授 森 典子

#### ピアノコース

今年度ピアノコースでは、昨年に引き続き特別客員教授としてアレクサンダー・セメツキー先生をお招きしています。

7月1日に第1回「ラフマニノフのピアノ作品について」というテーマで、ロシア音楽の流れ、特徴などを詳しく講義して下さいました。1回で全部を話しきれずに、後期にも第2回として続きをお話いただく予定です。

11月25日には、イェルジ・スリコフスキー先生、12月16日には、ショパンコンクール審査員で東京芸術大学でも教えていらっしゃるエヴァ・ポポーツカ先生の、公開講座を予定しております。

またなるべく全員の生徒に素晴らしい外国の先生方のレッスンを体験してもらいたいとの思いで、機会あるごとに計画しており、セメツキー先生、ファルヴァイ先生始め色々な先生方をお願いしています。

そして、より多くの学生に演奏する機会を提供できるよう努力しております。「サマーコンサート」「ピアノの夕べ」「春のコンサート」などです。その上7月15日には「コンチェルトの夕べ」、12月18日には北名古屋主催の「コンサート」と多くの学生がオーケストラとの共演という、素晴らしい経験をする事となりました。

ピアノコース 教授 岡 由美子

#### 電子オルガンコース

講師に現役プレイヤーの太田美香を招き、衣替えの観もある2010年度。

外に向けて何かを発信できる名芸・電子を目指し、8月4日、一般参加も可能なワークショップ実施。鷹野講座、一般公募したアンサンブルのクリニック、特別ゲストでナンバー1プレイヤー・窪田宏氏のソロライブ等、豪華な内容で展開。

一方、『模擬グレード』制度も良い形で定着。この業界の専門家のためのパスポート取得といえるヤマハ・グレード試験にも多数の合格者(4・3級というハイグレードの合格複数を含む)を輩出。

その他、秋には作曲やサウンドメディアコースの学生・

講師陣に向けて電子オルガンの理解を促し、新たな楽器の可能性を模索するセミナー開催予定。などなど、12月10日のコース定演、アースエコー(熱田文化小劇場)が、手前ミソながら楽しみになってくる位の充実ぶり。

電子オルガンコース 准教授 鷹野雅史

## 《音楽文化創造学科》

### ミュージカルコース

ミュージカルコースは、この2月に第2回目となる市民参加のミュージカル「飛騨・童話会議～シンデレラ・ワンダーランド～」を高山市と関市で上演させて頂きました。今年は参加者が200名余り、観客も2,500名を越える盛況となりました。少しずつ、少しずつ、ミュージカルに触れる方々を増やしたいというミュージカルコースの目的が達成されつつあることに喜びを感じております。

高山には本学の卒業生も多く、公演に参加して頂いたり、観劇に来て頂いたり、在校生と先輩諸氏との交流を持てることも大きな楽しみの一つとなっております。

尚、この公演は後援会から頂きました予算があつて実現した公演でした。ありがとうございました。

「飛騨・童話会議」は来年2月に3回目の公演が予定されております。9月から定期的にミュージカル・キャンプと呼ばれるリハーサルが行われますが、毎回、参加して頂いている市民の皆様の熱意と上達振りに圧倒され続けております。また、ミュージカル公演の他に、「親と一緒に歌える日本のポップス」「ボクたちが生まれた頃の街に流れていた日本のポップス」といったコンセプトのコンサートも定期的に開催しております。

ミュージカル公演とともに、こうしたコンサートにも足をお運び頂ければ幸いです。

ミュージカルコース 教授 森泉博行

### ジャズ&ポップスコース

ジャズ&ポップスコースでは、2号館ロビーで定期的に行うロビーコンサートが定着し、専攻生の励みとなっております。様々な仲間とのセッションや、自作曲の披露により、学生の演奏技術や感性が着実に磨かれています。そして、コース設立当時から学生の学習に多大な影響を与えて頂いている、特別客員教授の山下洋輔教授、森山威雄教授の公開講座も定着し、新たにコースの特徴が期待出来るまでになりました。

ジャズ&ポップスコース 教授 竹本義明

### 音楽ビジネス・ステージマネジメントコース

本コースの学生達は、舞台の表を成功させるために「何をすべきか!」を常に考え、そのノウハウを習得するために机上と実践に真剣に取り組んで居ります。今年度は、昨年度の好評企画を更に充実した内容で継続実施して参ります。

先ず、地域の活性化を狙った「平成22年度小牧市音楽鑑賞講座“音のときめき”8/7, 9/25, 11/20, 12/11, 1/11, 2/19」(官学協同企画)。新人の養成からデビューまでのプロセスを学んでいく「新人発掘・CD制作“GAN!

GRION”ポップス5人グループ」(自主企画)11月リリース。自分達のみで音楽界を紹介する「音楽情報誌“Oto-ar-i”」(自主企画)10/28発行。ショッピングモール(エアポートウオーク名古屋)を活用したイベント「ミュージカル(11/21)、子ども手作り楽器コンサート(12/11)、クラリネット・オーケストラ(1/23)」(産学協同企画)。

そして、コンテンツビジネスの徹底した実践体験を狙った港コンサート「名古屋芸大発! 未来を担う子どもたちに夢と希望を贈る“芸術が薫る・港100”港103・シリーズ(金管五重奏(11/28)、木管五重奏(2/27))」(地域密着型企画)。

更に、就職に直結する「インターンシップ」を夏期、冬期休暇に予定しております。

音楽ビジネス・ステージマネジメントコース 教授 小松孝文

### 音楽教育コース

音楽教育コースでは、創造的な音楽教育者を育成するために、実施面と理論面の両方のカリキュラムの充実をはかっております。

実践面では昨年と同様に、雅楽の楽器やハンドベル、大正琴などさまざまな楽器に触れることのできる特別講座を設け、それらの研究成果を披露すべく9月初旬には兵庫県の小・中学校へ演奏旅行に出かけました。さらに9月5日には、名古屋市文化振興事業団の要請により、名古屋開府400年祭パートナーシップ事業として、名古屋市と音楽教育コースが共同主催で、音楽教育コースならではの「音楽は友だちコンサート」が開催されました。

一方、理論面では、「音楽教育(ゼミ)」や「音楽教育特論」の授業において、中学校の音楽教科書の内容について綿密に分析し、学校音楽教育とは何かについて深く学ぶ機会を設けています。4学年では、自身のテーマに基づいて卒業論文を作成し、一層幅広い音楽文化の知識を取得することを心がけ、研究に取り組んでおります。

音楽教育コース 教授 金子敦子

### 音楽療法コース

音楽療法コースでは、1年次から4年次まで段階的に音楽療法実習に取り組めるようカリキュラムを組んでおります。地域の施設の方々のご協力を得て毎年学生たちは自発的に活動をしています。

9月6・7日には、1年生がサウンドメディアコースと共同で八ヶ岳に研修合宿に行きます。その中で、訪れた先の地域の方々をお呼びしたコンサートを開催します。コンサートでは、音楽療法で頻りに用いられる“トーンチャイム”という楽器を使った演奏に挑戦します。学生たちは今そのための練習に励んでいるところです。

また、7月には3・4年生を対象に、毎年恒例のコース卒業生の協力者を招いた就職説明会を行いました。学生たちは熱心に説明を聞き積極的に質問をしており、将来職業として音楽療法をやっていく気概が感じられ、大変頼もしく感じました。

音楽療法コース 講師 伊藤孝子

## サウンド・メディアコース

サウンド・メディアコースでは、作曲・録音・音響というより具体的な表現方法と芸術がどのように結びついていくのかを考えられるように、日々授業を展開しています。また、通常の授業以外で以下の特別講義を実施しました。

5月30日に作曲家として世界各地で高い評価を得ている、Tristan Murail氏(トリストラン・ミュライユ氏)の公開講座「Sound and Composition (音と作曲)」を本学2号館大アンサンブル室で行いました。



トリストラン・ミュライユ氏

ミュライユ氏の作品の具体的な作曲方法について、実際にコンピューターを使用して、スペクトラム分析の方法や、倍音を変化・合成する方法のレクチャーがあり、さらに映像と音楽が有機的に結合されたサラウンド作品の紹介もおこなわれ、本学で作曲や、音響を研究する学生にとって有意義な講義となりました。

6月17日、iPhone片手にテクノポップを奏でるアーティスト Craftwife(クラフトワイフ)として世界各地で高い評価を得ている赤松武子氏の特別講義を本学1号館701で行いました。赤松武子氏の作品の具体的な作曲方法についてや、実際にライブで使用しているiPhone用アプリケーション「Remokon」や、フリーウェアの音響合成プログラミング言語「SuperCollider」について解説頂き、さらには、音楽本来のありかたについて講義頂きました。

9月6日～7日、山梨県清里清泉寮において、サウンド・メディアコース1年生を対象に新入生夏期セミナーを行いました。1日目は、作曲・録音・音響の各分野ごとにわかれ、担当教員とともに、今後どのように勉強していくべきかのディスカッションを行いました。

2日目は、アコースモニユームの第一人者である、檜垣智也氏を特別講師として迎え、スピーカー19台による、アコースモニユーム作品の演奏について触れることができました。本コースで作曲や、音響を研究する学生にとって有意義な講義となりました。

また、3月8日(火)本学3号館ホールにて、オーケストラを媒体としたコンサート「ルネッサンス21 プラネタリア」を行います。本コース学生が作曲した作品が披露されます。ぜひお越し下さい。

サウンド・メディアコース 講師 長江和哉



サウンドメディア・アコースモニユーム

## 作曲・理論コース

作曲コースでは、作品を作る上でかせないアカデミックな作曲理論と、それに裏打ちされた実際の作曲実

習を中心に学習していきます。

毎年3月に実施する学生の作品を、学内外の演奏者に演奏をお願いしての、公開試演会を開催しています。これは、各学生が学年ごとに決められた課題作品を半年ないし1年かけて作曲し、それを実際に音にすることであり、学生個々のスキルを上げるために大変意義のあることと考えています。

また、例年実施されます音楽文化創造学科のイベント「ルネッサンス21」で、本年も作曲コース学生のオーケストラ作品が演奏され好評を博しています。卒業演奏会でも成績上位の学生の室内楽作品が演奏されました。

このように、作曲コースで学ぶ学生は、作品の演奏されるチャンスに恵まれ、各学生が目標をもって充実した学生生活をおくっています。

作曲・理論コース 教授 田中範康

## 《演奏学科・音楽文化創造学科》

### 音楽総合コース

音楽総合コースは4月の1日・2日に新入生合宿を行うことが恒例となっています。本年も豊橋のリゾートホテルで合宿を行いました。新入生37名に加えて音楽学部の全コースの教員、事務職員が参加しました。

合宿の目的は教務関係のオリエンテーション(単位取得の方法)と交流です。

音楽総合コースは、学生ひとりひとりがその関心に応じて個性的なカリキュラムをつくり、これにしたがって研究します。学生は音楽学部全コースの開講科目から履修単位が選べます。この選択は開講科目の知識がないと不可能なので、事務より音楽総合コースの単位取得について詳しい説明を行い、その後に各コースの教員がそれぞれのコースでの開講科目について説明を行います。学生たちはこれを参考に新学期の時間割から科目を選びます。

また、音楽総合コースの学生たちは様々なコースの学生たちに混じって科目を受講します。このために、音楽総合コースの学生たちが互いにふれあう機会はそのほど多くありません。合宿では、大学生生活を順調に開始するために学生たちがお互いに知り合ういい機会でもあります。

本年度の合宿でもこの趣旨通りにより合宿ができました。合宿は入学式以前に行いますので、音楽総合コースの学生たちは早く知り合いになります。音楽総合の学生たちが一緒にいる姿を見ると、合宿が役立っていると感じます。

その後単位の取得状況を見守っていますが、全体として順調に勉学の成果が現れています。

音楽総合コースでは3年生になるときにあらためて所属コースを選択できます。これから2年生の学生たちはどの分野で卒業まで研究するかを決定することになります。

4年生は様々なコースで卒業研究をしています。卒業研究(演奏、制作、論文)を通じて成長し、社会に出て行くこと期待しています。

音楽総合コース長 教授 中河 豊

## 美術学部

今年も猛暑日の8月1日に、名古屋芸術大学美術学部とデザイン学部が共同して、224名の生徒が参加して「一日芸大生」が実施されました。

「一日芸大生」とは、小、中学生を対象として、一日名古屋芸術大学の生徒になって、美術、デザインの実技系授業を体験してもらい、制作活動の楽しさに触れてもらおうという企画です。

現在の初等、中等教育においては、芸術教育にかけられる比重が年々低下を続け、感性の成長に大切な年代における芸術教育が、すでに必ずしも充分ではなくなっていることは、周知の事実です。またそれは、現在の芸術系大学を取り巻く、厳しい環境の一因となっていることも間違いありません。そのような芸術教育の現状に対する深い憂慮から、美術学部とデザイン学部は共同して、小、中学生時代から美術、デザインの制作と発表の面白さを実際に体験し、それに興味と関心を持ってもらうことを目的として、「一日芸大生」のイベントを毎年開催しています。

本年度の「一日芸大生」は、美術系の日本画、洋画、彫刻、版画の4コースと、デザイン系の5コースの合計9コースを開設して実施されました。

事前の募集には、606名の応募者がありましたが、工房等の都合もあり、実際には抽選によって224名の生徒が入学しました。

「一日芸大生」は入学式、学長歓迎スピーチで始まり、10時半から生徒達は、それぞれの希望で事前に決めていたコースに分かれ、各コース毎に課題についての講義の後、午前中の制作にとりかかります。

昼休みにはクラスの連帯感を深めるため、講師やチューターも一緒になって、クラス毎に昼食を摂ります。午後は1時から4時まで制作を行い、最後に各クラス毎に作品講評会を行って、実質4時間半の芸術漬けの一日の授業は終わります。

その後全員が体育館に集まり、卒業式、終了証書授与、クラス毎の記念撮影をもって、「一日芸大生」のイベントは終了となります。

因みに、「一日芸大生」では、小、中学生だけではなく、シニアのコースも開設され、今年は美術史、陶芸の2コースで、30名のシニアの方が受講されました。卒業式で自分の作品を手にもんだ生徒の顔々の、入学式では見られなかった満足感と充実感が輝いている表情は、何度見ても素晴らしい光景です。

「一日芸大生」の各クラスの授業には、本学の教員が講師となり、院生、学生がチューターとして制作の手助けに入ります。その結果、このイベントに参加する院生、学生にとっても、その体験は自身の研究や学習にとっても大きな刺激となっているようで、副次的効果ではありますがこのイベントは、学生の教育の面でも意義があると思っています。

上述のように「一日芸大生」は、美術系の教育環境の現状に鑑み、感性が急速に成長する年代に美術制作の本当の楽しさを体験することで、現在の美術教育の欠落部分を、少しでも補うことの一助になればとの願いで、企画、実施されています。しかしその一方では、この体験を契機として改めて美術、デザインに興味と関心を持ち、将来しっかりとした目的意識を持って美術系大学への進学を志す学生が、一人でも増えればとの願いをかけていることも事実です。

「一日芸大生」は、未だその成果は明確とまでは行きませんが、継続実施してきたこともあり、各方面から高い評価をいただいています。

私達は、できうるならこうした試みが全国に広がり、現状の芸術教育の見直しにつながることを、切に希望しています。

美術学部長 山田耕二



一日芸大生入学式



洋画入門



陶芸入門

## デザイン学部

年度に先立ち、3月28日には、デッサンの講習を中心としたオープンキャンパスが開かれ、あわせて学部学生の優秀作品を展示したレビュー選抜展も開かれるなかで今年の入学式は、4月5日、1年生181名の入学生と多くのご父兄のお迎えでもとに行われました。

その週、オリエンテーション、新入生歓迎会が行われ、翌週の4月12日から授業が開始されました。情報化社会の進展にともない、芸術・デザインの実技教育が重要であるにもかかわらず、ともすると軽視されがちな教育環境の中で本学では、その基礎教育をとりわけ重視し、コンピュータをはじめとする情報処理という時代の要求する教育と豊かな人間性を育む教養教育とのバランスを重視し今年もスタートしました。

1年生は、デザインのどの分野にも共通する基礎教育を中心に、2年生以降は学生それぞれが選択した専門教育によって成り立っています。授業のなかには、特別講義、公開講座、学外授業、展覧会など様々な形態が含まれています。

公開講座、特別講演は、社会の第一線で活躍する多彩な方々を講師に招いて多彩に行われました。

スペースデザイン・コースによって、6月25日、今年度特別客員教授の萩原修氏による特別講演とワークショップが行われ、ゲストにプロダクトデザイナーの磯野梨影氏も招きワークショップ課題の「おやつどうぐ」というテーマの学生作品を丁寧に講評されるなど充実した時間をもつことが出来ました。



萩原修氏による特別講演とワークショップ

インダストリアルデザイン・コースでは、6月27日アクシスギャラリーの情報企画グループのマネージャーである内藤稔氏を招き、氏の豊富な経験から「これからの40年デザイナーとして生きていくには何が必要か」について貴重な講義を受けました。

またフェラーリのデザインで名高い本学客員教授でもある奥山清之氏の講義を受けることが出来ました。また氏は、世界でももっとも重要な賞のひとつである『red dot design award』において最高賞の獲得は学生たちに大きな刺激となっています。

メディアデザイン・コースでは、情報芸術大学院大学の名誉学長である坂根巖夫氏を今年度特別客員教授としてお招きし、特別講演と「デザインと文化」という授業の中で「科学と芸術の境界を超えて拡張するアート」という演題で話していただきました。様々なアート姿と氏の半世紀にも及ぶ体験の中からの話に学生は深い驚きと感銘を得たようでした。



内藤稔氏による特別講演

「これからの40年デザイナーとして生きていくには何が必要か」

ヴィジュアルデザインコースでは、公開講座として7月27日に資生堂のクリエイティブディレクター檜原由比子氏を招いて公開講座がもたれ、氏の豊富な人生経験の中から抽出された、デザインの目的とアイデアの実践的な出され方などはなされ、学生に深い感銘を与られました。また、専任教員による公開の講義やワークショップも、盛んに行われました。メディアデザイン・コースの竹内 創 専任講師による iPhone のカメラ機能を使った体験型公開ワークショップが名古屋の国際デザインセンターと栄のアップルストアで行い、本学学生のみならず多くの一般の市民が共感して参加する中で行われました。

今年も、佐藤 浩教授が主宰する広告表現論では、シャープのテレビ「アクオス」の広告で有名なアートディレクター副田高行氏、サントリーやウールマークの広告をはじめ多くの仕事をコピーライターとして成功させた西村嘉禮氏、NHK TV局ディレクターとして様々なドキュメンタリー番組を手がけてきた羽村 玄氏の三人をお招きし、現場で活躍するそれぞれの方から、熱っぽく学生へのメッセージを語っていただきました。また、授業も様々な形態がとられ、実社会と関わりのある様々なテーマを取りあげられました。

テキスタイルデザイン・コースでは、6月5日・6日の有松絞りまつりの期間中、4年学生が、自作デザインの手ぬぐいの販売を行いました。昨年度からの継続授業で、「日本の伝統の軸線上にあるモダンデザイン」のもとに業界で活躍するSOU・SOUのアートディレクター若林剛之氏と本学の扇千佳准教授の指導のもと、地元の板締め絞り工場「張正」で伝統技法を学び、学生自身が柄のデザインをし、染めたもので「従来の渋いイメージとは違ってカラフル」との評判を呼び、学生が作った150点ほどが完売し、実際に売れたことで伝統産業と自分たちの学んだデザインが評価されたと自身を深めることが出来ました。

今年は、例年の中でもことに「異常気象」、「気候変動」を身を以て強く感じる年でした。ヴィジュアル・デザ

ンとイラストレーションコースの4年生の学生は、年々激しくなるこの問題をテーマにポスターの制作に取り組み、本学名誉教授ヘルムート・ランガー氏の企画する国際学生ポスタープロジェクトに参加し、今年11月メキシコで行われる「国連気候変動会議」の会場に展示されるポスターの制作に取組みました。

また、スペースデザイン・コース3年の学生による「巨大な萬華鏡をつくる」というワークショップは小学校の学校公開日に、小学生も参加できるワークショップとして本学学生も参加して2メートル以上もある巨大な萬華鏡をつくり、父兄も一緒に萬華鏡の世界を体験し、父兄、市民から喜ばれました

各専門コースによるコース展も活発に行われました。5月にはイラストレーション、4年の学生による栄「イズトウ」でのコース展プロダクト・スペースブロックでは7月に、スペースデザイン2年の学生はテーブルのデザインをテーマに、3年の学生は子供図書館のための家具をテーマに展覧会を、いずれも学内で行いました。

クラフトブロックのメタル&ジュエリー・コースおよびテキスタイル・コースの学生は例年のように素材展を、またメディアコミュニケーション・コースも、学内のギャラリーで、版画、写真、本などの分野にわたる前期における多彩なコース展を行いました。学生、卒業生の活躍も目覚ましく、クラフトデザインの一昨年の卒業生土田泰子さん、現4年生の稲葉りえさん、3年生の田中郁子さんが、2010年度日本ジュエリーアート展(26才以下の部)が入選。イラストレーション・コースの同じく一昨年の卒業生で、在学中からプロの漫画家をめざしていた堀越浩平さんは、少年ジャンプに彼の作品「逢魔ヶ刻動物園」の連載が決まり、巻頭にデビューを飾りました。(7月12日号)

デザイン学部長 溝口和夫



檜原由比子氏による公開講座



学生自作デザインの手ぬぐいの販売

# 人間発達学部

今年度は、人間発達学部開設4年目、いよいよ4年生が、社会への巣立ちを準備する年となりました。4年生は今、真剣に人生の関門に立ち向かっています。

早くも小学校一次試験合格、三重県幼稚園合格などの嬉しい知らせも届いています。

学部としては先輩のいない中、よく頑張り、第一期生として後輩によい伝統を残してくれつつあるように思っています。

今年の新入生オリエンテーション合宿は、4年生12名が3年の夏からゼミ長を中心に何回も委員会を開いて準備し、大学生生活の紹介や、教員の紹介、夜のゼミのミーティングへの参加など、若者らしいセンスで楽しく盛り上げてくれました。

1年生からも「いい先輩たちがいることがわかり、とても心強く、安心した。前向きで、リーダー性があり、楽しい。あんな学生になりたい。」などが感想文に多く寄せられていました。

又、特筆すべきは、メディア・コンテンツの研究のゼミの学生2人が、自分たちで人間発達学部の広報を志願し、オリエンテーション合宿の取材を皮切りに、様々なイベントや学生の活躍を紹介するブログを立ち上げてくれていることです。学生たちに言わせると、「名芸の人間発達学部は、きめ細かく熱心な教育をしてくれているのに、忙しすぎるのか、奥ゆかしいのか、多分両方だと思うけど、外への発信が少ない。自分たちは、大学に誇りを持っているので、外にも知ってもらい、よい学生が集まってほしい。頑張っている仲間の紹介もしたい。」のだそうです。

5月には文化創造セミナーで、名古屋市立大学前理事

長・学長の西野仁雄氏より、「イチローの活躍と脳の働き」という興味深い講演をお聴きました。

7月には特別公開講座で、東京女子大学名誉教授の柏木恵子氏より、「子どもが育つ条件—子どもとおとなの発達—」という講演を、ウイル愛知ホールにて地域の多くの保育者、父母の方々とともにお聴きました。

8月には、卒業生のための「リフレッシュセミナー」を開き、伊藤一子先生より製作の基本技術と展開方法についてのワークショップをしていただき、好評でした。

9月の初めには、保育園実習を控えた2年生、幼稚園実習を控えた3年生のため、短大保育科の先輩たちを招いて、保育園・幼稚園・小学校・施設での実践や就職のための心準備について経験談をお聴きします。先輩園長講演は、高浜市立幼稚園長鈴木弘子先生です。

本学の建学の精神「至誠奉仕」という言葉を、私はフロムの「愛するということ」の言葉とともに理解しています。

「人は他人に何を与えるのだろうか。自分自身を、自分の一番大切なものを、自分の生命を、与えるのだ。それは別に、他人のために自分の生命を犠牲にするという意味ではない。そうではなくて、自分の中に息づいているものを与えるということである。自分の喜び、興味、理解、知識、ユーモア、悲しみなど自分の中に息づいているもののあらゆる表現を与えるのだ。

このように自分の生命を与えることによって、人は他人を豊かにし、自分自身の生命感を高めることによって、他人の生命感を高める。(—後略—)

こんな人間的交流が行き交う人間発達学部であり、卒業後の職場にできる人たちが育ってほしいと思っています。

人間発達学部子ども発達学科主任 野原由利子

## 長野県 木曽藪原 名古屋自由学院木祖セミナーハウスにて 「自然と暮らしを楽しむ会」 2010年夏季合宿



蕎麦うち体験  
(色々な太さがあったけどとってもおいしかった！)



川遊びのあとで  
(水鉄砲で思い切り遊んで皆びしょりです)

## 2010年度 年間行事予定表【音楽学部】

月	日	曜日	前期行事予定
4月	1	木	音楽総合コース1年セミナー(4/1~4/2)
	2	金	↓
	3	土	オリエンテーション
	5	月	入学式
	6	火	オリエンテーション(4/6~4/10)
	8	木	健康診断
	10	土	↓ 新入生歓迎会
	12	月	授業開始
	14	水	履修登録訂正期間(4/14~4/16)
	16	金	↓ 4/16(金) 16:00締切
5月	1	土	昭和の日(休日)
	3	月	開学記念日(休日)
	4	火	みどりの日(休日)
	5	水	こどもの日(休日)
	15	土	オープンキャンパス
	6月	23	水
24		木	↓ 提出先:教務課
7月	6	火	↓ 7/6(火) 16:00締切
	18	日	オープンキャンパス
	19	月	海の日 授業実施日
	23	金	実技試験期間(7/23~7/24)
	24	土	↓
	31	土	授業予備日 夏期音楽講習会(7/31~8/3)
8月	2	月	補講・集中講義期間 夏季休業開始
	3	火	(8/2~8/11) ↓
	7	土	閉校
	11	水	↓
	12	木	夏季一斉休業期間(8/12~8/15)
	18	水	↓ 成績評価表提出締切(教員)
	21	土	閉校
	25	水	前期試験合否発表 13:00~
	28	土	閉校
	31	火	追再試験期間(8/31~9/3)
9月	3	金	↓
	4	土	閉校
	7	火	追再試験成績評価表締切(教員)
	9	木	追再試験合否発表 13:00~
	11	土	閉校
	18	土	閉校
	20	月	敬老の日(休日)
	21	火	後期オリエンテーション(9/21~9/22)
	22	水	↓
	23	木	秋分の日 後期授業開始
	26	日	オープンキャンパス
	28	火	履修登録訂正期間(9/28~9/30)
	30	木	↓ 9/30(木) 16:00締切

月	日	曜日	後期行事予定
10月	3	日	AO入試
	11	月	体育の日 授業実施日
	28	木	芸大祭(10/28~10/30)
	30	土	↓ ※準備を含む
	31	日	芸大祭後片付け
11月	3	水	文化の日(休日)
	6	土	推薦入試・3年編入入試
	7	日	指定校推薦入試
	22	月	休業日 学院創立記念日
	23	火	勤労感謝の日(休日)
12月	3	金	後期実技試験曲目提出期間(12/3~12/16)
	16	木	↓ 提出先:教務課
	23	木	↓ 12/16(木) 16:00締切
	24	金	天皇誕生日(休日)
	27	月	補講・集中講義期間 冬期音楽講習会
	28	火	(12/24~12/28) ↓ (12/24~12/27)
1月	29	水	↓ 冬季一斉休業期間(12/29~1/3)
	1	土	元旦
	3	月	↓
	4	火	補講・集中講義期間(1/4~1/5)
	5	水	↓
	6	木	授業再開
	10	月	成人の日(休日)
	27	木	実技試験期間 補講・集中講義期間
	29	土	(1/27~1/30) ↓ (1/27~1/29)
	30	日	↓
2月	1	火	授業予備日
	2	水	補講・集中講義期間(2/2~2/4)
	4	金	↓
	5	土	A日程入試
	6	日	社会人・留学生入試 特待生・3年編入試験
	8	火	成績評価表提出締切(教員)
	10	木	後期試験合否発表 13:00~
	11	金	建国記念日(休日)
	14	月	研究生入試
	15	火	後期追再試験期間(2/15~2/18)
3月	18	金	↓
	22	火	追再試験成績評価表提出締切(教員)
	23	水	追再試験合否発表 13:00~
	2	水	卒業判定会議
	3	木	卒業演奏会(3/4~3/5)
	4	金	↓
	9	水	進級判定会議
	20	日	春分の日(休日)
	21	月	振替休日(休日)
	23	水	卒業式
25	金	B日程入試	
29	火	前期オリエンテーション(3/29~3/31)	
31	木	↓	

## 2010年度 年間行事予定表【美術学部・デザイン学部】

月	日	曜日	前期行事予定
4月	5	月	入学式
	6	火	オリエンテーション(4/6~4/10)
	8	木	Web履修登録(3年生) 履修登録提出締切(4年生)16:00迄
	9	金	健康診断(1・2年生)
	10	土	Web履修登録(新1年生) 新入生歓迎会
	12	月	授業開始
	16	金	履修登録訂正締切 12:10迄
	29	木	昭和の日(休日)
5月	1	土	開学記念日(休日)
	3	月	憲法記念日(休日)
	4	火	みどりの日(休日)
	5	水	こどもの日(休日)
6月	13	日	オープンキャンパス
7月	18	日	オープンキャンパス
	19	月	海の日 授業実施日
	30	金	前期授業終了
31	土	授業予備日	
8月	1	日	一日芸大生 夏季休業期間開始
	2	月	前期集中講義期間(8/2~8/11)
	5	木	↓
	6	金	↓
	9	月	↓
	11	水	↓
	18	水	成績評価表提出締切(教員)
	25	水	前期試験合格発表 13:00~
	31	火	前期追再試験期間(8/31~9/3)
	9月	3	金
4		土	AO入試
7		火	追再試験成績評価表提出締切(教員)
9		木	前期追再試験合格発表 13:00~
20		月	敬老の日(休日) 夏季休業期間終了
21		火	後期オリエンテーション(9/21~9/22)
22		水	↓
23		木	秋分の日 授業実施日 後期授業開始
26		日	オープンキャンパス

月	日	曜日	後期行事予定
10月	11	月	体育の日 授業実施日
	28	木	芸大祭(10/28~10/30)
	29	金	※準備を含む
	30	土	↓
31	日	芸大祭後片付け	
11月	3	水	文化の日(休日)
	7	日	推薦・指定校推薦入試
	13	土	大学院Ⅰ期・3年編入Ⅰ期入試
	22	月	休業日 学院創立記念日
23	火	勤労感謝の日(休日)	
12月	11	土	地域・社会人入試
	21	火	冬季休業期間開始 授業実施日
	22	水	授業実施日
	23	木	天皇誕生日(休日)
	24	金	補講・集中講義期間(12/24~12/28)
	28	火	↓
	29	水	冬季一斉休業期間(12/29~1/3)
	31	金	↓
1月	1	土	元旦
	3	月	↓
	4	火	補講・集中講義期間(1/4~1/5)
	5	水	↓
	6	木	後期授業再開
	10	月	成人の日(休日)
	27	木	補講・集中講義期間(1/27~1/29)
	29	土	↓
	31	月	後期授業終了
	2月	1	火
2		水	補講・集中講義期間(2/2~2/4)
4		金	↓
5		土	A日程入試(2/5~2/6)
6		日	↓
8		火	成績評価表提出締切(教員)
10		木	後期学科試験合格発表 13:00~
11		金	建国記念日(休日)
15		火	後期追再試験期間(2/15~2/18)
18		金	↓
19		土	大学院Ⅱ期・3年編入Ⅱ期・研修生入試
22		火	追再試験成績評価表提出締切(教員)
23		水	後期追再試験合格発表 13:00~
3月		2	水
	9	水	進級判定会議
	15	火	B日程入試・転学部・転科転コース、デザイン学部転ブロック試験
	16	水	研究生入試
	20	日	春分の日(休日)
	21	月	振替休日(休日)
	27	日	卒業式

## 2010年度 年間行事予定表【人間発達学部】

月	日	曜日	前期行事予定
4月	5	月	入学式
	6	火	1年生オリエンテーション合宿(4/6~4/7)
	7	水	↓
	8	木	3・4年生オリエンテーション 健康診断(全学年)
	9	金	1・2年生オリエンテーション
	10	土	1年生オリエンテーション 新入生歓迎祭
	12	月	前期授業開始日
	14	水	前期履修登録訂正期間(4/14~4/16)
	16	金	↓ 最終日 16:00締切
29	木	昭和の日(休日)	
5月	1	土	開学記念日(休日)
	3	月	憲法記念日(休日)
	4	火	みどりの日(休日)
	5	水	こどもの日(休日)
	27	木	文化創造セミナー 15:00~
31	月	小学校実習(4年生)(5/31~6/26)	
6月	26	土	↓
7月	18	日	オープンキャンパス
	19	月	海の日 授業実施日
	23	金	補講日
	30	金	前期授業終了日
	31	土	授業予備日
8月	1	日	夏季休業開始(8/1~8/15)
	2	月	補講・集中講義期間(8/2~8/6)
	6	金	↓
	7	土	閉校
	9	月	補講・集中講義期間(8/9~8/11)
	11	水	↓
	15	日	↓
	18	水	成績評価表提出締切(教員)
	21	土	閉校
	25	水	前期試験合否発表 13:00~
	28	土	閉校
	29	日	オープンキャンパス
	30	月	後期オリエンテーション
31	火	追再試験期間(8/31~9/3)	
9月	3	金	↓
	4	土	閉校
	6	月	保育実習Ⅰ(2年生)(9/6~9/18)
	7	火	追再試験成績評価表締切(教員)
	9	木	追再試験合否発表 13:00~
	11	土	閉校
	13	月	幼稚園実習(3年生)(9/13~10/2)
	18	土	閉校
	20	月	敬老の日(休日)
	23	木	秋分の日 後期授業開始日
	26	日	オープンキャンパス
	27	月	小学校実習(4年生)(9/27~10/23)
	28	火	後期履修登録訂正期間(1・2・4年生)
	30	木	↓ (9/28~9/30) 最終日 16:00締切

月	日	曜日	前期行事予定
10月	3	日	AO入試
	4	月	後期履修登録訂正期間(3年生)
	6	水	↓ (10/4~10/6) 最終日 16:00締切
	11	月	体育の日 授業実施日
	21	木	防災訓練(予定)
	25	月	後期履修登録訂正期間(小学校実習の4年生)
	27	水	↓ (10/25~10/27) 最終日 16:00締切
	28	木	芸大祭(10/28~10/30)
	30	土	↓ ※準備を含む
	31	日	芸大祭後片付け
11月	3	水	文化の日(休日)
	6	土	推薦A入試(11/6~11/7) 3年編入A入試
	7	日	↓
22	月	休業日 学院創立記念日	
23	火	勤労感謝の日(休日)	
12月	5	日	推薦B入試 社会人入試
	23	木	天皇誕生日(休日)
	24	金	補講・集中講義期間(12/24~12/28)
	27	月	3年生の月曜専門科目授業
	28	火	3年生の火曜専門科目授業
	29	水	冬季一斉休業期間(12/29~1/3)
	1月	1	土
3	月	↓	
4	火	補講・集中講義期間(1/4~1/5)	
5	水	3年生の水曜専門科目授業	
6	木	授業再開	
10	月	成人の日(休日)	
27	木	補講・集中講義期間 3年生の木曜専門科目授業	
28	金	↓ (1/27~1/28) 3年生の金曜専門科目授業	
31	月	後期授業終了日	
2月	1	火	授業予備日
	2	水	補講・集中講義期間(2/2~2/4)
	3	木	3年生の木曜専門科目授業
	4	金	3年生の金曜専門科目授業
	5	土	一般A入試(2/5~2/6)
	6	日	↓
	8	火	成績評価表提出締切(教員)
	10	木	後期試験合否発表 13:00~
	11	金	建国記念日(休日)
	14	月	保育実習Ⅱ(2年生)(2/14~2/26)
	15	火	追再試験期間(1・3・4年生)
	18	金	↓ (2/15~2/18)
	22	火	追再試験成績評価表締切(教員)
23	水	追再試験合否発表(1・3・4年生) 13:00~	
3月	2	水	追再試験期間(2年生) 卒業判定会議
	8	火	↓ (3/2~3/8)
	12	土	一般B入試 3年編入B入試
	14	月	追再試験合否発表(2年生) 13:00~
	20	日	春分の日(休日)
	21	月	振替休日(休日)
	23	水	卒業式

# 2010年度 入学式

桜の咲き誇る4月5日、2010年度の名古屋芸術大学入学式が同大西キャンパス体育館で行われました。学部入学生(音楽・美術・デザイン・人間発達



学部)と大学院入学生(音楽・美術・デザイン研究科)及びその保護者の方々、また、来賓の皆様をお迎えし、本学教員役職者をはじめ教職員が着席する中、恒例の名古屋芸術大学ウィンドオーケストラによる式前演奏が行われ、Jupiter(曲名)が会場に流れていました。



定刻となり、開式のことばに引き続き、学長から学部・大学院入学生全員の入学が許可されました。本年度から就任された竹本義明新学長が式辞に立ち、

新入生に歓迎の言葉を述べられました。学長は式辞の中で、「現在、国際社会の社会構造は急激に変化し、国や地域社会に大きな影響を与えています。このような社会構造の変化は大学にも大きな制度改革を求めていると考えられます。社会制度の変化に対し、本学が掲げる人間教育、芸術教育が一層重要な役割を担うこととなります。大学は、教育課程の見直しを行い、学士教育を充実します。皆さんは、学部の専門の知識を身につけるだけに留まらず、世界に通じる学士になるための知識を学んでい

ただきたい。また、次の3点、①基礎学力の向上と教養の習得、②学外、授業以外での勉強時間をしっかり確保すること、③名古屋芸術大学の学生として誇りを持ちマナーを守ること、を実行して欲しいと思います。今日の入学の日から、卒業後・修了後の自らの姿を思い描きながら、目標や計画を持って大学生生活をスタートしていただきたい。」と激励されました。



続いて、入学生代表による宣誓が行われました。大学院の総代として、音楽研究科器楽専攻の辻 亮平君が、学部の総代は美術学部美術学科の熊崎葵さんが力強く宣誓を行いました。

この後、本学の設置法人である学校法人名古屋自由学院の理事長、川村大介氏が挨拶を行い、続いて、来賓を代表して、北名古屋市長(代読：教育長)の祝辞がありました。

そして、ご出席の来賓の皆様のご紹介を行い、最後に、本学教員役職者を紹介して式典を終了しました。

式典終了後は、再び、名古屋芸術大学ウィンドオーケストラにより、新入生歓迎演奏が行われました。音楽学部演奏学科竹内雅一教授の指揮により、フィリップ・パーク作曲の「A Weekend in New York」が演奏されました。ウィンドオーケストラの重厚な音色が会場一杯に響き、芸術大学にふさわしい趣のある入学式となりました。



## 大学へのお問合せ先一覧

内 容	担当部署	電話番号
学納金について	庶務会計課	東キャンパス (音楽学部・人間発達学部) 0568-24-0315 (代)  西キャンパス (美術学部・デザイン学部) 0568-24-0325 (代)
成績について 証明書発行について(在学・在籍を除く) 教員免許・学芸員資格について	教務課	
休学・退学について 課外活動・大学祭等について 住所変更等について 就職について 資格取得講座について アルバイトについて 証明書発行について(在学・在籍のみ) その他学生生活全般について	学生支援課	
本学入試に関すること 本学大学院進学について 本学研究生・研修生について	広報入試課	
交換留学について	国際交流センター(学生支援課)	
生涯学習講座について	生涯学習センター(芸術文化交流室)	
音楽学部主催の演奏会等について	演奏課	東キャンパス 0568-24-0315 (代)
アート&デザインセンターで開催する 展覧会について	アート&デザインセンター(芸術文化交流室)	西キャンパス 0568-24-0325 (代)
後援会について	芸術文化交流室	東キャンパス 0568-24-0315 (代)

大学事務局で保護者の方からのご質問やご相談にお応えする場合、以下のような確認をさせていただく場合があります。特に個人情報が含まれる内容に関しては、ご子女の「学籍番号」の確認、本人の確認、保護者の確認を行った後、ご質問やご相談にお応えします。大学に登録されている情報と異なる場合は、お問い合わせに応じることは出来ませんので悪しからずご承知おきください。

なお、以上の理由から、連絡先等を変更された場合は、お手数でも変更の手続きをなされますようお願いいたします。変更の手続きが行われなければ本学からのお知らせや成績等をお届けすることができなくなります。

## 2009年度授業評価アンケート報告

名古屋芸術大学は総合的な自己点検評価の根幹をなす教育の質的な向上のために、2004年度後期から「授業評価アンケート」を行ってきました。これは学校教育法(第九章第九十九条)に謳われている教育研究等の点検・評価及び公表に基づくものであり、この2009年度で5年目を迎えました(2005～2008年度は前期と後期ごとに実施し、報告書は全部で5冊作成しています)。

2009年度はこれまでに実施した「授業評価アンケート」を全体的に点検する意味で、評価結果の経年変化を見ながらアンケート項目や実施方法の見直し等を行い、授業改善に向けた一層効果的な実施のあり方を検討しました。そのために前期は「授業評価アンケート」の実施は見送り、後期から新しいスタートをすることとしました。

具体的な改善策としては、従来は本学職員が実施の補助、データの読み込みと分析、資料作成まで行っていました。通常業務にさらに大きな負担が加わることを避

けて、それらの作業を専門の業者に委託することにしました。これにより、多様なグラフ表現やアンケート各項目の平均数値、授業ごとの詳細な分析値等が得られ、個々の教員にフィードバックするために十分なデータを集めることができました。

アンケート内容については質問をより有効なものに変更すると同時に、項目を9から15に増やし、第15項目は授業担当教員が学生から評価を希望する任意の設問としました。そして最後には、学生が当該の授業や担当教員の指導に対して自由に意見や要望を出すことができる「自由記述欄」を設けました。

すでに授業改善は教員一人ひとりの努力から、教育組織単位での改善が要求される時代となっています。名古屋芸術大学も、大学全体や学部・学科等、各教育組織が掲げている教育理念や方法に即した授業を提供するために、これからも誠実かつ精力的な改善を実施していきます。

自己点検・評価委員会  
委員長(副学長) 橋本裕明

### 「2009年度授業評価アンケート」の実施方法と期間

調査項目は15項目あり、以下の設問で、5段階評価(最高5)としています。また学生からの意見や要望を聞くための自由記述欄も設けております。

#### 〈設問1～4: あなた自身について〉

- あなたの授業出席割合はどれくらいですか
- あなたのこの授業への(週)予習・復習時間はどれくらいですか
- あなたのこの授業への取り組みは自己採点で何点くらいですか
- あなたは授業内容を講義要項(シラバス)で確認しましたか

#### 〈設問5～7: 授業科目について〉

- 授業内容はシラバスに即していましたか
- 授業の開始・終了時間は適切でしたか
- この授業で使用した教科書・プリントは有益でしたか

#### 〈設問8～11: 担当教員について〉

- 教員の熱意や工夫は感じられましたか
- 質問や提出物への対応は適切でしたか
- 教員の説明やアドバイスは適切でしたか
- 教員は学生に公平に対応していましたか

#### 〈設問12～14: 全体評価について〉

- この授業に一層の学習意欲がわきましたか
- あなたはこの授業によって知識が広がりましたか
- この授業の総合的な満足度を教えてください

#### 〈設問15〉

- 担当教員による自由設定項目 ※自由記述欄

※実施期間は以下の通りです。

【前期】前期の「授業評価アンケート」の実施は見送り、過去5年間の総括を行いました。また集計結果のデータ化までを依頼する専門業者を選定し、アンケート調査項目の検討および変更、教員へのフィードバックの仕方、評価結果から授業改善に至るプロセスについての議論を行いました。

【後期】通年の全授業科目と後期開講の授業科目を対象として、2010年1月14日(木)～1月25日(月)の期間で実施しました。

# 2010(平成22)年度 名古屋芸術大学音楽学部主催による演奏会案内

(※予定につき変更になる場合がありますので、事前にご確認ください。)

2010

**7 July**

## コンチェルトの夕べ

指揮/古谷 誠一  
管弦楽/名古屋芸術大学オーケストラ  
曲目/ピアノ協奏曲 第2番(ショパン)  
他予定  
日時/7月15日(木) PM6:30開演  
会場/三井住友海上しらかわホール  
入場料/無料(全席自由 整理券あり)

**8 August**

## 第12回 ピアノ・サマーコンサート

日時/8月11日(水) PM5:30開演  
会場/電気文化会館 ザ・コンサートホール  
入場料/無料(全席自由 整理券あり)

**9 September**

## ウィンドオーケストラ 第29回 定期演奏会

指揮/ヤン・ヴァン デル ロースト  
竹内 雅一  
曲目/O.レスピーギ(木村吉宏 編曲):  
ローマの松 他  
日時/9月27日(月) PM6:30開演  
会場/愛知県芸術劇場コンサートホール  
入場料/1,000円(全席自由)

**10 October**

## 研究生特別演奏会

日時/10月14日(木) PM6:00開演  
会場/電気文化会館 ザ・コンサートホール  
入場料/無料(全席自由 整理券あり)

## オーケストラ

### 第28回 定期演奏会

指揮/古谷 誠一  
曲目/ベートーヴェン:交響曲第9番 他  
日時/10月28日(木) PM6:45開演  
会場/愛知県芸術劇場コンサートホール  
入場料/1,000円(全席自由)

**11 November**

## 第18回 ピアノの夕べ

日時/11月11日(木) PM5:30開演  
会場/電気文化会館 ザ・コンサートホール  
入場料/無料(全席自由 整理券あり)

## 第33回 定期演奏会

日時/11月18日(木) PM6:00開演  
会場/三井住友海上しらかわホール  
入場料/無料(全席自由 整理券あり)

**12 December**

## 第29回 室内楽の夕べ

日時/12月9日(木) PM6:00開演  
会場/熱田文化小劇場  
入場料/無料(全席自由 整理券あり)

## 電子楽器コース演奏会

日時/12月10日(金) PM6:30開演予定  
会場/熱田文化小劇場  
入場料/無料(全席自由 整理券あり)

2011

**2 February**

## 平成22年度 研究生修了演奏会

日時/2月1日(火) PM6:00開演予定  
会場/電気文化会館 ザ・コンサートホール  
入場料/無料(全席自由 整理券あり)

## 第9回 歌曲の夕べ

日時/2月10日(木) PM6:30開演予定  
会場/電気文化会館 ザ・コンサートホール  
入場料/無料(全席自由 整理券あり)

## 大学院音楽研究科特別演奏会

日時/2月15日(火) PM5:30開演予定  
会場/電気文化会館 ザ・コンサートホール  
入場料/無料(全席自由 整理券あり)

## 第15回 春のコンサート ピアノのしらべ

日時/2月19日(土) PM5:30開演  
会場/電気文化会館 ザ・コンサートホール  
入場料/無料(全席自由 整理券あり)

## オペラ公演「フィガロの結婚」

指揮/白 鎮鉉(Baek Jinhyoun)  
管弦楽/名古屋芸術大学オーケストラ  
演出/澤脇 達晴  
日時/2月19日(土) PM3:00開演  
2月20日(日) PM3:00開演  
会場/名古屋芸術創造センターホール  
入場料/2月19日(土) 1,000円(全席自由)  
2月20日(日) 500円(全席自由)

## アンサンブル・フィラルモニク・ア・ヴァン

### 第12回 定期演奏会

指揮/ヤン・ヴァン デル ロースト  
小野川 昭博  
日時/2月23日(水) PM6:15開演予定  
会場/長久手町文化の家 森のホール  
入場料/1,000円(全席自由)

**3 March**

## 第38回 卒業演奏会

日時/3月3日(木) PM6:00開演  
3月4日(金) PM6:00開演  
会場/三井住友海上しらかわホール  
入場料/無料(全席自由 整理券あり)

## 平成22年度 音楽企画(8) “ザ・ルネッサンス21”

指揮/松浦 修  
管弦楽/セントラル愛知交響楽団  
日時/3月8日(火) PM6:00開演  
会場/名古屋芸術大学3号館ホール  
入場料/500円(全席自由)

## 大学院音楽研究科 第13回 修了演奏会

指揮/未定  
管弦楽/コレギウム・アカデミカ(名古屋芸術大学の教員を主体に編成されたオーケストラ)  
日時/3月9日(水) PM6:30開演  
3月10日(木) PM6:30開演  
3月11日(金) PM6:30開演  
会場/三井住友海上しらかわホール  
入場料/無料(全席自由 整理券あり)

## ミュージカル公演(演目未定)

脚本・演出/森泉 博行  
音楽/井上 堯之、長谷川 雅大  
振付/名倉 加代子  
指揮/竹内 雅一  
日時/3月19日(土) PM6:30開演  
3月20日(日) PM2:00開演  
会場/名古屋青少年文化センター  
アートピアホール  
入場料/1,000円(全席自由)

●お問い合わせは●

名古屋芸術大学音楽学部 演奏課  
〒481-8503  
愛知県北名古屋市熊之庄古井281  
TEL (0568) 24-5141  
FAX (0568) 24-5169

●オペラ公演のお問い合わせ●

㈱クレアーレ  
TEL (0568) 26-3355



## 就職セミナーの紹介

学生一人ひとりの将来の夢や希望を尊重し、教員と連携をとりながら全員が希望通りの就職・進学ができるように支援を行っていますので、気軽に利用してください。※就職課では学年にかかわらず将来の進路について相談をすることができます。

### 2010年度 就職対策・キャリア支援行事予定表

#### 《音楽学部》

月	日	曜	限	教室	学年	講座内容	対象
学外行事(説明会): 会社説明会・セミナー・企業展(以降随時)							
4	1~15	木~木	—	自宅	4年	就職模擬試験(第2回教員採用試験模擬試験)	教員希望者
	12~23	月~金	—	自宅	4年	作文添削①(4/12~23)	就職希望者
	14	水	5	11-101	2・3・4年	ヤマハグレード試験・システム講師・PMS講師学内説明会	希望者
	15	木	5	11-101	2・3・4年	カワイ音楽講師採用・グレード試験学内説明会	希望者
	22	木	11~15時	1-7F	4年	就職用写真撮影 ※22日・23日いずれか1日	就職希望者
			4・5	1-402・403	4年	第2回就職ガイダンス~面接対策講座(総まとめ)・模擬面接~	就職希望者
23	金	11~15時	1-7F	4年	就職用写真撮影 ※22日・23日いずれか1日	就職希望者	
学外行事(説明会): 教員採用試験要項配布および受付開始、公務員要項配布および受付開始							
5	6~13	木~木	—	自宅	4年	就職模擬試験(第3回教員採用試験模擬試験)	教員希望者
	10~21	月~金	—	自宅	4年	作文添削②(5/10~21)	就職希望者
	13	木	4	1-701	1年	第1回キャリアガイダンス~大学生活を充実させるポイント~	希望者
				1-702	4年	教員採用試験学内説明会	教員希望者
			5	1-702	4年	愛知県教員採用試験説明会	愛知県採用試験受験予定者
				1-401	4年	名古屋市教員採用試験説明会	名古屋市採用試験受験予定者
				1-406・407	4年	岐阜県教員採用試験説明会	岐阜県採用試験受験予定者
				1-408・409	4年	三重県教員採用試験説明会	三重県採用試験受験予定者
	20	木	4	1-701	1年	第2回キャリアガイダンス~自分で見つける、未来の自分~	希望者
	27	木	4・5	1-702	3年	第1回就職ガイダンス~なりたい自分と社会とのつながり~ ※同内容 4限・5限いずれか1日出席	全員
6	3	木	4	1-702	3年	第2回就職ガイダンス~卒業後の進路について~	全員
	7~18	月~金	—	自宅	4年	作文添削③(6/7~18)	就職希望者
	9	水	5	1-405	3年	自己分析検査(CAREER APPROACH) ※9日・11日いずれか1日に受験	全員
	10	木	5	11-101	2年	第1回キャリアガイダンス~これまでの自分、これからの自分~	希望者
			4・5	1-701	3年	第3回就職ガイダンス~社会を知る~ ※同内容 4限・5限いずれか1日出席	全員
	11	金	5	1-405	3年	自己分析検査(CAREER APPROACH) ※9日・11日いずれか1日に受験	全員
	17	木	5	11-101	2年	第2回キャリアガイダンス~個性発見!可能性を広げよう~	希望者
	24	木	4	5-501	3年	第4回就職ガイダンス~作文対策講座①~	全員
30	水	5	1-405	3年	就職模擬試験 No.1(一般常識) ※30日・2日いずれか1日に受験	全員	
学外行事(説明会): 7/21教員採用試験(愛知・岐阜・三重等)、名古屋民間保育連盟就職ガイダンス、福祉の職場・就職説明会、公務員採用試験、三重県私立保育園連盟就職ガイダンス							
7	1	木	4	1-702	4年	第5回就職ガイダンス~マナー講座(総まとめ)~	全員
	2	金	5	1-405	3年	就職模擬試験 No.1(一般常識) ※30日・2日いずれか1日に受験	全員
	8	木	4	5-501	3年	第5回就職ガイダンス~CAREER APPROACHの解説~	検査受験者
	22	木	4	5-501	3年	第6回就職ガイダンス~作文対策講座②~	全員
8 学外行事(説明会): 愛知県私立幼稚園連盟統一試験、愛知県私立幼稚園説明会(名古屋・岡崎・豊田)、公務員採用試験 岐阜県民間保育園連盟就職セミナー							
9	9/27~10/8	月~金	—	自宅	3・4年	作文添削(9/27~10/8)	就職希望者
	30	木	4	5-503	1年	第3回キャリアガイダンス~未来につなげる大学での学び~	希望者
10	7	木	4	5-503	1年	第4回キャリアガイダンス~「なりたい自分」は今日の自分がつくる!~	希望者
			4	5-501	3年	第8回就職ガイダンス~就職活動のすすめ方・就職試験とは~	一般就職希望者
	14	木	4	5-501	3年	第9回就職ガイダンス~業界職種研究・サイトの活用~	一般就職希望者
学外行事(説明会): 名古屋民間保育園連盟就職情報展、アート&クリエイティブ(音楽系企業説明会)東京会場							
11	1~12	月~金	—	自宅	3・4年	作文添削(11/1~12)	就職希望者
	4	木	5	11-101	2年	第3回キャリアガイダンス~今身につけたい、社会の力~	希望者
	11	木	5	11-101	2年	第4回キャリアガイダンス~「なりたい自分」に向けて、新たな1歩を踏み出そう!~	希望者
			4・5	1-701	3年	第10回就職ガイダンス~就職活動のマナー・ルール・手紙~ ※同内容 4限・5限いずれか1日出席	全員
4	木	4	11-101	4年	特別支援学校・講師登録説明会	講師登録希望者	

月	日	曜	限	教室	学年	講座内容	対象
11	17	水	5	1-405	3年	就職模擬試験 No. 2 (SP1) ※17日・19日いずれか1日	全員
	18	木	4	5-501	3年	第11回就職ガイダンス～履歴書・エントリーシートの書き方～	全員
	19	金	5	1-405	3年	就職模擬試験 No. 2 (SP1) ※17日・19日いずれか1日	全員
	25	木	4	5-501	3年	第12回就職ガイダンス～エントリーシート攻略テスト～	全員
12	6～17	月～金	—	自宅	3・4年	作文添削(12/6～17)	就職希望者
	9	木	11～15時	1-7F	3年	就職活動用写真撮影 ※9日・10日いずれか1日	全員
			4・5	1-402・403	3・4年	第15回就職ガイダンス～面接対策講座・模擬面接～	全員
10	金	11～15時	1-7F	3年	就職活動用写真撮影 ※9日・10日いずれか1日	全員	
1	13	木	4	1-405	3年	第16回就職ガイダンス～春休みの就職活動～	一般就職希望者
	後日指定	—	—	自宅	3・4年	就職模擬試験 No. 3 (第1回教員採用試験模擬試験) (2011年度採用)	教員希望者

※上記日程・講座内容は変更・追加することがあります。また、教室変更等についても注意してください。(詳細については、掲示板で確認してください。)

## 《美術学部・デザイン学部》

月	講座内容	対象
4	第1回就職支援・資格取得講座受付(予約メール受付期間)	講座受講希望者
5	教員採用試験説明会(東キャンパス)	希望者
	就職ガイダンス(就職活動における今後のスケジュール)	美術学部・デザイン学部
	夏季インターンシップ<ガイダンス授業>	インターンシップ参加者
	夏季インターンシップ<業種・職種・企業研究 実習エントリーシートの作成>	インターンシップ参加者
	夏季インターンシップ参加申込受付	インターンシップ参加者
6	就職ガイダンス(就職活動の流れ・進路調査)	美術学部・デザイン学部
	就職ガイダンス(就職適性・自己分析テストの実施)	美術学部・デザイン学部
7	第2回就職支援・資格取得講座受付(予約メール受付期間)	講座受講希望者
	就職ガイダンス(ポートフォリオ対策講座①)	美術学部・デザイン学部
	就職ガイダンス(ポートフォリオ対策講座②)	美術学部・デザイン学部
	夏季インターンシップ<ビジネスマナー講座(事前研修)>	インターンシップ参加者
8 9	第3回就職支援・資格取得講座受付(予約メール受付期間)	講座受講希望者
	各種就職支援講座・資格取得講座の実施	講座受講者
	夏季インターンシップ研修実施	インターンシップ参加者
10	就職ガイダンス(就職活動の進め方・就職ナビの活用)	美術学部・デザイン学部
	就職ガイダンス(求人の見方、エントリーシートの書き方)	美術学部・デザイン学部
	就職ガイダンス(エントリーシート攻略テスト)	美術学部・デザイン学部
	夏季インターンシップ<フォローアップ授業(事後研修)>	インターンシップ参加者
	就職ガイダンス(適性試験対策)	美術学部・デザイン学部
11	就職ガイダンス(SP1 模擬試験テスト)	美術学部・デザイン学部
	クリエイティブ系就職ガイダンス(クリエイティブを活かして働く)	美術学部・デザイン学部
	春季インターンシップ<ガイダンス授業>	インターンシップ参加者
	春季インターンシップ<業種・職種・企業研究 実習エントリーシートの作成>	インターンシップ参加者
	春季インターンシップ参加申込受付	インターンシップ参加者
12	クリエイティブ系就職ガイダンス(ポートフォリオのまとめ方)	美術学部・デザイン学部
	就職ガイダンス(面接試験対策)	美術学部・デザイン学部
	就職ガイダンス(ビジネスマナー講座①)	美術学部・デザイン学部
	就職ガイダンス(ビジネスマナー講座②)	美術学部・デザイン学部
1 3	第4回就職支援・資格取得講座受付(予約メール受付期間)	講座受講希望者
	春季インターンシップ<ビジネスマナー講座(事前研修)>	インターンシップ参加者
	学内企業説明会期間	美術学部・デザイン学部
	各種就職支援講座・資格取得講座の実施	講座受講者
	春季インターンシップ研修実施	インターンシップ参加者
4	就職活動オリエンテーション(新4年生)	美術学部・デザイン学部
	春季インターンシップ<フォローアップ授業(事後研修)>	インターンシップ参加者

※予定は変更・追加になる場合があります。日時は提示等で確認してください。

※各種就職支援講座・資格取得講座は上表日程以外でも実施予定の講座があります。

## 《人間発達学部》

月	日	曜	限	教室	学年	講座内容	対象
学外行事(説明会): 会社説明会・セミナー・企業展(以降随時)							
4	1~15	木~木	—	自宅	4年	就職模擬試験(第2回教員採用試験模擬試験)	教員希望者
	12~23	月~金	—	自宅	4年	作文添削①(4/12~23)	就職希望者
	15	木	4	1-702	4年	第1回就職ガイダンス~就職活動について~	全員
	22	木	11~15時 4・5	1-7F 1-402・403	4年	就職用写真撮影 ※22日・23日いずれか1日	就職希望者
	23	金	11~15時	1-7F	4年	第2回就職ガイダンス~面接対策講座(総まとめ)・模擬面接~ 就職用写真撮影 ※22日・23日いずれか1日	就職希望者
学外行事(説明会): 教員採用試験要項配布および受付開始、公務員要項配布および受付開始							
5	6	木	4 5	1-701	4年	公務員試験説明会(保育職)	希望者
	6~13	木~木	—	自宅	4年	就職模擬試験(第3回教員採用試験模擬試験)	教員希望者
	10~21	月~金	—	自宅	4年	作文添削②(5/10~21)	就職希望者
	13	木	4	11-101	1年	第1回キャリアガイダンス~大学生生活を充実させるポイント~	希望者
				1-702	4年	教員採用試験学内説明会	教員希望者
				1-702	4年	愛知県教員採用試験説明会	愛知県採用試験受験予定者
				1-401	4年	名古屋市教員採用試験説明会	名古屋市採用試験受験予定者
	1-406・407	4年	岐阜県教員採用試験説明会	岐阜県採用試験受験予定者			
	1-408・409	4年	三重県教員採用試験説明会	三重県採用試験受験予定者			
	20	木	4	11-101	1年	第2回キャリアガイダンス~自分で見つける、未来の自分~	希望者
27	木	4・5	1-702	3年	第1回就職ガイダンス~なりたい自分と社会とのつながり~ ※同内容 4限・5限いずれか1日出席	全員	
6	3	木	5	1-702	3年	第2回就職ガイダンス~卒業後の進路について~	全員
	7~18	月~金	—	自宅	4年	作文添削③(6/7~18)	就職希望者
	9	水	5	1-401	3年	自己分析検査(CAREER APPROACH) ※9日・11日いずれか1日に受検	全員
	10	木	5	11-101	2年	第1回キャリアガイダンス~これまでの自分、これからの自分~	希望者
			4・5	1-701	3年	第3回就職ガイダンス~社会を知る~ ※同内容 4限・5限いずれか1日出席	全員
	4	1-702	4年	愛知県私立幼稚園連盟統一試験学内説明会	希望者		
	11	金	5	1-301	3年	自己分析検査(CAREER APPROACH) ※9日・11日いずれか1日に受検	全員
	17	木	5	11-101	2年	第2回キャリアガイダンス~個性発見!可能性を広げよう~	希望者
24	木	4	5-501 1-702	3年 4年	第4回就職ガイダンス~作文対策講座①~ 私立幼稚園教員採用説明会(PRキャラバン隊)	希望者 学科講座未受講者	
30	水	5	1-401	3年	就職模擬試験 No.1(一般常識) ※30日・2日いずれか1日に受検	全員	
7	学外行事(説明会): 7/21教員採用試験(愛知・岐阜・三重等)、名古屋市民間保育連盟就職ガイダンス、福祉の職場・就職説明会、公務員採用試験、三重県私立保育園連盟就職ガイダンス						
	1	木	4	1-702	4年	第5回就職ガイダンス~マナー講座(総まとめ)~	全員
	2	金	5	1-301	3年	就職模擬試験 No.1(一般常識) ※30日・2日いずれか1日に受検	全員
	15	木	5	1-702	3年	第5回就職ガイダンス~CAREER APPROACHの解説~	検査受検者
	22	木	4 5	5-501 1-702	3年 4年	第6回就職ガイダンス~作文対策講座②~ 第6回就職ガイダンス~夏期休業期間中の就職活動について~	学科講座未受講者 全員
9	9/27~ 10/8	月~金	—	自宅	3・4年	作文添削(9/27~10/8)	就職希望者
	30	木	4	1-701	1年	第3回キャリアガイダンス~未来につなげる大学での学び~	希望者
10	7	木	4	1-701 5-501	1年 3年	第4回キャリアガイダンス~「なりたい自分」は今日の自分がつくる!~ 第8回就職ガイダンス~就職活動のすすめ方・就職試験とは~	希望者 一般就職希望者
	14	木	4	5-501	3年	第9回就職ガイダンス~業界職種研究・サイトの活用~	一般就職希望者
学外行事(説明会): 名古屋市民間保育園連盟就職情報展、アート&クリエイティブ(音楽系企業説明会)東京会場							
11	1~12	月~金	—	自宅	3・4年	作文添削(11/1~12)	就職希望者
	4	木	5	11-101	2年	第3回キャリアガイダンス~今身につけたい、社会の力~	希望者
	11	木	5	11-101	2年	第4回キャリアガイダンス~「なりたい自分」に向けて、新たな1歩を踏み出そう!~	希望者
			4・5	1-701	3年	第10回就職ガイダンス~就職活動のマナー・ルール・手紙~ ※同内容 4限・5限いずれか1日出席	全員
			4	11-101	4年	特別支援学校・講師登録説明会	講師登録希望者
	17	水	5	1-401	3年	就職模擬試験 No.2(SPI) ※17日・19日いずれか1日	全員
	19	金	5	1-406	3年	就職模擬試験 No.2(SPI) ※17日・19日いずれか1日	全員
25	木	5	1-702	3年	第13回就職ガイダンス~履歴書・エントリーシートの書き方~	全員	
12	2	木	5	1-702	3年	第14回就職ガイダンス~履歴書添削テスト~	全員
	6~17	月~金	—	自宅	3・4年	作文添削(12/6~17)	学科講座未受講者
	9	木	11~15時 4・5	1-7F 1-402・403	3年 3・4年	就職活動用写真撮影 ※9日・10日いずれか1日 第15回就職ガイダンス~面接対策講座・模擬面接~	全員 学科講座未受講者
	10	金	11~15時	1-7F	3年	就職活動用写真撮影 ※9日・10日いずれか1日	全員
1	13	木	4	1-406 1-702	3年 3年	第16回就職ガイダンス~春休みの就職活動~ 第17回就職ガイダンス(合格者による体験発表)	全員 教員希望者
	後日指定	—	—	自宅	3・4年	就職模擬試験(第1回教員採用試験模擬試験)<2011年度採用>	教員希望者
2	10	木	後日指定	1-702	3年	第18回就職ガイダンス(春休みの就職活動)	保育職希望者

※上記日程・講座内容は変更・追加することがあります。また、教室変更等についても注意してください。(詳細については、掲示板で確認してください。)



## 先輩の活躍



### 1人でも多くの方に音楽に触れ、楽しんでいただくために

2009年度 音楽学部 演奏学科  
電子楽器コース卒業

柴田大樹

私は株式会社河合楽器製作所で営業の仕事をしています。この会社名を聞いてピンとこられる方は少ないのではないのでしょうか。しかし、ピアノを作っている会社と言えばわかっていただけの方は多いと思います。私はそのカワイピアノを営業し、販売する仕事をしています。



大学では電子オルガンの演奏を学んできた私にとって、営業という職種は全く違う分野で、ほとんどゼロからのスタートで今日までやってきています。毎日が勉強だらけで覚えることがたくさんありますが、わからないたびに先輩社員に聞いて一つひとつ覚えていきます。河合楽器の営業職の新入社員は全国で7人しかおらず、新

入社員で中部地方での営業職は私一人しかいません。しかし、一人である分、先輩方からやさしく、時には厳しく接していただき、大切にされていると感じています。

現在は営業職の見習いとして、営業の基礎を勉強しています。いろいろなタイプの方に対応していけるように、断られることに慣れるようにということでローリングと呼ばれる一軒ずつ家を訪問していく飛び込み営業を主に行っています。このローリングを通じて、本当にいろいろなタイプの方がいるのだなということを感じます。冷たい対応をされる、明らかに自分のタイプとは異なる人に出くわした場合など逃げ出したいくなってしまいう時も多々あります。大学時代はタイプが合わない人だったら関わらないようにすればよいという考えが通じますが、今はそのような考えは全く通じません。どのようなタイプの方でも柔軟に対応していけるよう訓練をしていく必要があるということを感じました。

まだ私は営業社員として見習いの身であるため先輩方と同じ業務を行えていないので、仕事のやりがいはいかなるものなのかはわかりませんが、楽器の販売を通じてひとりでも多くの方に音楽に触れていただき、楽しめる機会を提供できるようになることが私の目標です。

(株式会社 河合楽器製作所 勤務)

### 小さな積み重ねを大切に

2009年度 音楽学部 音楽文化創造学科  
音楽療法コース卒業

丹下賀央里

私は知的障害養護学校の中学部、重複障害学級に所属しています。毎日の授業や教材作り、行事に追われ、忙しくも充実した日々を送っています。大変なことも多いですが、子どもたちはかわいくて、楽しく過ごしています。

音楽療法を通して、障害を持つ子どもと接したことはありましたが、特別支援学校の教育内容や授業の様子を知らなかった私にとって、特別支援学校は未知の世界でした。今でも、失敗、反省ばかりの毎日ですが、先生方のご指導を受けながら、頑張っています。講師経験もなく、知識と経験がない私は実践を通して覚えていくしかないのです。

5月、少し学校のリズムにも慣れ、仕事もなんとなく形になってきた頃、大きな壁にぶち当たりました。音楽の授業中、子どもたちには笑顔がなく、やらされている様子で全然楽しそうではないのです。私1人だけが空回りしていて、教師側からの一方通行の授業。音楽の楽しさを伝えたい、それによって達成感を味わってほしいと思っ

いになりながら、たくさん泣いて悩んで多くの先生に相談しました。すると先生からこう言われました。「あせってはダメ。この子たちはゆっくり、じっくり根気よく、繰り返しの指導が大切な。その中の本当に小さな成長を見逃してはいけない。そこを見つけて褒めてあげて、伸ばしてあげて。」

約半年経った今、やっと成長を感じられるようになりました。決して私1人だけの力ではないけれど、担任の先生や、ご家族、そして本人の頑張りが実を結び始めていること、とても嬉しく思います。これこそが、教師のやりがいであり、これが楽しくて、嬉しくて、先生方は教師を続けていらっしゃるんだと分かりました。そして私も小さな成長を共に感じ、喜びあえる、教師になりたいです。毎日の何気ない小さな積み重ねを大切に、私も生徒と一緒に成長していきたい。子どもが大好きな気持ち、一緒に寄り添う気持ちを忘れずにこれからの教員生活を送りたいと思います。(愛知県立三好養護学校 勤務)





## 今はただ目の前にあることに 精一杯取り組む

2009年度 美術学部 絵画科  
日本画コース卒業

永谷妃美

私は今、愛知県立三好養護学校で講師として働かせていただいています。そこで高等部3年の11組ある中の一つで副担任をしています。担当教科は美術で、2組を除いた学年全てのクラスをもう一人の美術の先生の方と割り振って授業を教えています。

一番大変だったことは「個別の指導計画」の作成です。定期考査がない学校なので、成績の評価の仕方が特殊で、個人個人の実態にあった授業の目標・手だてを設定し、それを基にできたことを評価していかなければいけません。4月当初は生徒の実態が把握しきれていない状態だったので、設定基準に見当がつかず、過去の資料を漁ってなんとか作成していました。

また実際に授業を行ってみると実態に合わない内容が多く、制作開始の合図で私をもっていきかかった方向と

は全く違う方へ制作し出すことがありました。その時はものすごく落ち込み、改めて生徒一人一人としっかり向き合っていかなければと思いました。実態に合った授業が行え、生徒達が真剣に取り組んでくれる姿を見た時はとても嬉しかったです。美術はただ生徒が心から楽しんで制作に取り組めればそれでいいと実感しました。そして作品の出来栄ではなく、制作過程が大切だと思ひ知りました。

この夏季休暇の間に特別支援学校の先生方による美術研修会に参加させていただきました。先生方の今までに試行錯誤して実践されてきた教材研究の発表や実習講習会などが開かれ、今後の参考になる沢山のアイデアをいただきました。また自身の制作意欲に繋がるものもあり、大変有意義で勉強になる時間を過ごすことができました。今はまだ厳しい状況ですが、もう少し余裕ができてきたら趣味程度の制作も両立して取り組んでいこうと考えています。

まだ知識が乏しく精神的にも未熟でいろいろな方々のお力添えがないとやっていけない状況ですが、日々の経験を大切に頑張っていきたいと思ひます。

(愛知県立三好養護学校 勤務)

## 私の絵と社会を結びつけるには

2009年度 デザイン学部 デザイン科  
テキストデザインコース卒業

米野直子

私は名古屋市西区にある、水谷印刷株式会社で出力オペレーターとして働きます。出力オペレーターとは、オンデマンド印刷の機械を使い面付けなどのデータ処理をして、印刷する仕事です。オンデマンド印刷とは昔ながらのオフセット印刷ではできない少部数、多種類、を可能にした印刷です。

私は大学ではテキストデザインコースだったのですが、以前同じような職種でアルバイトをやっていたので興味を持ってこの会社に入りました。やはりアルバイトと正社員との違いを痛感しています。アルバイトは気軽に責任感なく楽しくやれていたけど、今は自分の担当している分の納期管理をし、今日はここまで終わらせなくてはならない、と責任感を持ちながら働いています。

苦勞した事は、入社から3カ月の頃、ミスをしてしまって一度納品した物を引き取ってもらい作り直し再納品しました。ただでさえ入ったばかりで作業のスピードも他の社員に比べると遅く、早くやらなくてはと焦ってやってしまった初歩的なミスでした。もう一度作り直しを

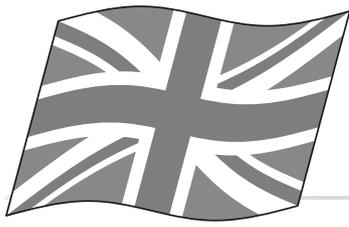
し、時間もコストも無駄にかけてしまった自分が情けなかったです。

入社して半年、任されている分はすごく少ないです。会社の力になれているという実感があまりなく、まだ教えてもらいながらなので、やりがいなどまだ見つけられていませんが、お給料をもらいながら経験させてもらっているのだと思います。早く今よりも仕事がやれるように頑張っています。

私はオペレーターなので、デザインは仕事ではないのですが、年明けにお客様に配るマウスパッドの社内コンペに出してみたらと言われたので出しました。残念ながら、採用にはならなかったのですが、社長が面白い絵だから、会社の商品の年賀状のデザインに使用するかもしれないと言ってくれました。なかなか大学で学んだ事と社会を結びつけるのは難しいと感じました。だけど、結びつけられるよう制作は続けていきたいです。

(水谷印刷株式会社 勤務)





University of Brighton  
Degree Show

## ブライトン大学 デイグリーショーに参加して

後援会副会長 大竹百合子

私は6月2日から7日まで、ブライトン大学デイグリーショーに参加させて頂きました。

6月2日の早朝、晴天のセントレアをブライトンに向けて出発致しました。やはり地球の裏側は遠く、ブライトンに到着したときには正直とても疲れていました。次の日は朝から大学へ、生徒のみなさんの作品を同じくソウル大学からみえた先生方と回りました。みなさんが一生懸命製作した思いは肌で伝わってきました。我が校の先生方はお疲れの中、一日かけて評価をしてみえ、私は頭の下がる思いがいたしました。

ブライトンはイギリスの南端、リゾート地。私達のホテルも海岸沿いにありました。お陰様で天気は良く、青い空にたくさんのカモメが飛び、気持ちの良い日が続きました。

イギリスでの4日間は連日レセプションがあり、慌ただしい日々でしたが、同時に色々な方とお話をする機会となりました。さらにブライトン大学の方々はとても優しく、英語が出来ない私にも簡単な英語や文章で話しかけてくださり、楽しく過ごすことが出来ました。また、35年英国で生活してみえる河野先生もお力になってくださり、ブライトンの方々との交流は非常にスムーズになりました。



プレゼンする学生



審査の様子



ブライトンの町並



授賞式



受賞学生と

出発前、私はこの機会に、少しでもブライトン大学の方々に日本を知って頂きたい。日本の文化に触れて頂きたいと思い、小紋と付け下げの二枚の着物を持っていく事にしました。帯の結べなかった私は、出発前1週間ほど練習をしていきました。荷物は重くなり、多少不安でしたが、持って行って本当によかったと思いました。

ブライトン大学だけでなく、道行く人々が着物を見て下さるなど、色々な方々に日本の一面を見て頂くことが出来、大変嬉しく思いました。

またすべてのレセプションが、大学内で温かい雰囲気の中で行われました。最終日には、名芸後援会からの授賞式、表彰式が有り、私も先生方と壇上にて受賞者一人一人に賞状、賞品、折り鶴を手渡しました。嬉しそうな学生と握手を交わし、写真を撮って頂き、表彰式も無事終わりました。

その夜にはブライトン大学主催のファッションショーがありました。それは華やかなサウンドとプロのモデルによる素晴らしいものでした。そしてその時私は、今年のブライトン大学のディグリーショーも無事に終わられたことを実感致しました。

この度私は、たくさんの方々に支えて頂きました。いつも重い荷物を持って下さり、とても紳士的だった竹本学長、気軽にお声を掛けて下さり、散策にも付き合ってくれた萩原先生、流暢な英語で大学の方々とコミュニケーションを助けて下さった須田先生、現地で様々な手助けをして下さった河野先生、出発前に些細なところまで気を遣って頂いた、国際センターの生駒さんや事務局の金子さんに心からお礼を申し上げます。また、私を気持ちよく送り出してくれた家族、職場の皆さんにも心から感謝致します。ありがとうございました。

最後に、これまで以上にブライトン大学と我が校の友好が深まり、発展されますことを心よりお祈り申し上げます。



学生によるファッションショー

## International Student Information

### 東キャンパス 留学生ウェルカムパーティーを終えて

去る6月16日(水)、名古屋芸術大学 東キャンパスに在籍する留学生及び来学中の短期留学生を交えて、2号館ロビーにてウェルカムパーティーが開かれました。

出席した在籍留学生は韓国4名・中国4名・そしてアメリカの交換留学生の3名で総勢11名の参加、竹本学長・久保田国際交流委員長が挨拶、歓談中も終始明るい雰囲気の中に楽しいひと時が過ぎました。留学生の中には日本語の大変上手な学生がいて驚きました。個人差もあると思いますが、韓国・中国の学生は几帳面で控えめ、アメリカの学生は明るくて積極的、そんな印象を受けました。

今回のパーティーに華をそえたのが、留学生の歓迎演奏である本学非常勤講師中井先生が日本歌曲の「さくら・さくら」とイタリア民謡の「オーソレミオ」を歌唱、アメリカデंबर大学の3名はパーカッション・ピアノ・ヴァイオリンの曲を演奏された、そして盛大な拍手を浴びました。「音楽」は言葉の壁を越えて人の心に伝わったように感じた。

「音楽」を愛する者同士だからこそ、その喜びを共有できるすばらしいひと時でした。

東キャンパス 学生支援課



### 西キャンパス 「ウェルカムパーティー」に以後に想う…

本年前期来訪交換留学生は当初11名を予定していたが名古屋入国管理局申請を経て心待ちしたものの結局最終的には3名より辞退がされて英国3大学8名の学生を迎えた。

ブライトン大学より1男子3女子学生(4)、ファルマス芸術大学より2男子1女子学生(3)、創造芸術大学より1女子学生の総計8名の中で、お父様が日本人お母様が英国人であるブライトン大学生で洋画女子学生の留学があって夫々は日本語スピーチに果敢なく挑戦をして懸命に応えた。

深い造詣に基づく日本文化や宮崎駿アニメーション映画や漫画や囲碁に強い関心を持った学生を迎えて彼らにとってはNUAの留学は、この上ないチャンスであったかとおもいます。

4月末に実施される此の待ちわびた歓迎会について在籍生で語学にとっても関心の強い学生さんが

積極的に集まって大成果を得ました。此の機会を得ることで早くからの友人獲得に努めた学生も多々いたかと思えます。電子辞書を片手にiPodを巧みに動かして意思疎通を懸命にはかっている初々しき学生たちの姿に接して担当者として頼もしく思えました。

後期に向けて英国・仏国への留学チャンスを得る学生にとっては身近な英語を話せる唯一な存在であることで来訪交換留学生達の存在は少なからず大きいものとして捉えられた筈です。

熱気に満ちたりた学生食堂北側空間は竹本義明新学長、溝口和夫デザイン学部長、和田義行国際交流センター長がご出席されて楽しく歓談がされました。

西キャンパス 学生支援課  
国際交流センター 川島憲雄

# クラブ・同好会紹介

	クラブ・同好会名	活動内容	活動場所
1	KARADA 研究所	声楽には声楽の、ミュージカル、ピアノコースなどの、各科に対応した筋肉を鍛えるため、専門の器械を使ったトレーニングを行う。	東キャンパス
2	ジャズ研究会	個人の楽器を持ち寄り、セッションを楽しむ技術の向上を目的とする。ジャズのスタンダードナンバーを中心に様々なジャンルの曲を演奏、研究し、理解を深めていく。	
3	ジャンプ・スウィング・オーケストラ	BIG BANDの演奏を通してよりよい音楽感を身に付け、感性豊かな人間形成を目標とする。また、団体行動の中で個々の協調性を養う。	
4	ピンポン☆DASH	卓球によって運動不足解消をはかり、学年に区別することなく、楽しむ。また、大会や合宿に参加し、学生生活をより充実していくものにする	
5	フットサル部	日頃のストレス発散、スポーツによってできる仲間作り、技術の向上を目的とし、楽しむ事を第一とする。	
6	フラワーショットテニスサークル	みんなで楽しくテニスをし、体力向上を図る。合宿や行事を通して部員や学生と交流を深める	
7	ミュージックボランティア	大学での授業の実習以外での音楽・音楽療法活動をする。	
8	ゴスペルサークル	「ゴスペル」という音楽を1人でも多くの人に伝えたいから。他学年、他コースとの交流を深めるため。	
9	子ども文化サークル	人形劇の制作をし、発表を通して子どもたちと交流する。	
10	自然と暮らしを楽しむ会	都会での人工的な生活に慣れて、人間の生活は自然の営みに支えられていることの実感を見失いがちになっています。今ならまだ身近にも発見できる、自然の不思議さ、逞しさを実感し、自然の恵みによって私たちの命と生活が成り立っていることを体感することができます。自然についての知識や技術を沢山たくわえ、次世代にも伝えていきます。	
11	爆音楽部	学校生活を充実させるため、音楽を楽しむため。	東キャンパス
12	B・B・Z(バスケット部)	バスケットボールを通して、人間発達、音楽、美術等の全学部の学生と交流を深める。また、学外活動を通して、他大学の友達やチームの人と交流を深め、自分達の技術を磨くことを目的とする。	
13	ルーディメンツクラブ	インターナショナルルーディメンツ、コンテンポラリーハイブリッドドラムルーディメンツ等のあくまでも基本形を習得し、個々に対してのより合理的な奏法を確立することにより、表現の幅を広げ音楽的自立を目指す。	
14	和太鼓部	和太鼓をたたき音楽や体を動かすことを楽しみながら、地域の祭やイベントを通じて地域の人と交流する。	
15	ワンダーフォーゲル	ネイチャーゲームやキャンプなどの自然体験をすることにより、環境問題にも目を向ける。また、テントの組み立てや野外調理などの技術の獲得をしていき、将来、教育現場などで役立てられるようにしていく。	
16	硬式テニス	運動不足解消や、健康のためみんなで楽しくテニスをする。	
17	Dance Circle	人前に立つ事になれる。音楽に合わせて体を動かす楽しみを知り、一つのをみんなで作り上げていく素晴らしさを知る。素晴らしい仲間を作り、大学生活の中でいい経験をする。	
18	すくらんぶる	部員の救急法・幼児安全法の習得をしながら、日本赤十字社青年奉仕団として、八事日赤の小児病棟へのボランティア活動を中心に、献血や募金活動に積極的に参加し、救急に関する個人の知識や技術を高めながら社会に貢献することを目的とする	
19	中音部	学部、学年関係なく、音楽に触れて、仲良く演奏したり、音楽の楽しさ素晴らしさを追求するため。	
20	冒険KID'S	岐阜県の郡上八幡の自然の中で現地の方や小学校の子どもたちと一緒に自然体験をする。	
21	Noise band 吹奏楽部	さまざまな場所で演奏し、音楽の楽しさを伝える。学校行事を盛り上げる。人間発達学部らしさを音楽にする。学外からの演奏依頼は積極的に参加する。	西キャンパス
22	リズム体操部	「動いて、創って、指導して」をモットーに日々、自分自身の身体作りをしながら体操やラトなどの演技や作品づくりをし、大会等で発表や指導をしながら、各自の動く技術や指導力を高めることを目的とする。	
23	女子スポ同好会	一週間に1度、みんなで体を動かして遊ぶ。主にバスケットで、初心者や少し経験した事のある子たちで楽しくバスケットをする。	
24	バレーボール同好会	運動不足解消。みんなでバレーを楽しみリフレッシュ！	
25	モータースポーツ同好会	乗り物の基本的なメンテナンス知識を身に付け、安全に乗り物を運転する技術を身に付ける。	
26	料理サークル	将来、児童養護施設や小学校等に就職する場合や、母親となり子どもを育てることになった時、基本的な料理を作ることができたり、子どもに栄養のある食事を与えることができるよう、今時間のある学生のうちに料理を学んでおきたいため。	
27	FU研(ファッ研)	R&B、GOSPEL、HIPHOP、FUNK、NEOSOULなどのブラックミュージックをセッションしてアフリカ系アメリカ人のセッションカ、クルーヴダイナミックスを修得する。ゲスト(ミュージシャン、クワイヤー)を呼んでセッションしてもらったり教えてもらったりする。ポスター応募や、コンクールを主とした活動。	
28	自由工房	テニスを通して、精神、体力を鍛え、交流の場を広げる。	
29	tennisubu	スキーを楽しみながら、スキーに必要な体力を身につける。また団体生活を通じて団結力深め、社会に必要な礼儀を身につける。	
30	ゴンスキー部	着付けを通して、日本に古くから伝わる美とその精神を学びとる。	
31	着付け部	空手を通して、心身の鍛錬及び護衛術の体得。豊富な器材を使つての筋トレ、体作り。	
32	空手部	バトミントンを通して、運動不足を解消し、健康な体作りを目指す。また、学部の枠を越えた人付き合いも目指す。	
33	バトミントン部	サッカー部のモットーは「而立」。大学生活を、心身ともに、より充実した生活を送れる様に、サッカーを通して、たくさん笑い、楽しんで、より勉学に励むことを目的とし、共に成長し合えるように活動したい。	
34	サッカー部	動画や漫画の制作を通して、自己表現の枠を広げる。	
35	動画漫画研究部	写真技術の向上と写真表現の研究。写真部員同士による、写真と美術、デザインに対する関わり方の研究。	
36	写真部	自由に音楽を楽しむことを目的とし、クラブや野外でのイベント、演奏、パフォーマンスをするため、日々練習をしている。音楽で空間や気持ち盛り上げ、自由な音を発信する部活。	
37	自由音楽部	音楽を通して異なる学科との交流を深め、学校行事に積極的に参加し、大学生生活の充実を図っている。活動内容は、それぞれのグループに分かれてバンド活動を行い、楽器などの上達や、人との交流を深めている。	
38	軽音部	卓球大会に向けて、誰でも卓球を楽しめるから、皆で楽しむため。	
39	卓球部	粘土を使って、物作りの楽しさや難しさを知ってもらい、作ったものを自分で使用したり、芸祭で売ったりする。	
40	陶芸部	部員が、好きな野球を通して、運動のみならず、勝利というものを意識して、お互いが励ましあい、支え合い、協調性や気配りなど、人間として、社会に出て活躍できる人格の土台作りをするため。	西キャンパス
41	サマータイムブルース(野球)	剣道を通しての人物形成。	
42	剣道部	版画の普及、版画を選択していない学生に体験をしてみよう。	
43	版画部	楽しい学生生活を送るため。心身の健康を保つため。他学年との交流を図るため。	
44	バスケットボール部	バレーボールの練習、試合。体を動かして、良い人間関係をつくる。	
45	バレーボール部	演劇を通して、自己の表現力の幅を広げると共に、団体で一つのことをすることを目的とする。	
46	演劇部	レーシングを通して、仲間たちとの交流、技術と心身の向上を目指す。	
47	レーシング部	ギターを通して友達との交流を図り、ギターの上達と人間的成長を高める。	
48	フォークギター部	ダンスをする事で、体を動かし健康的になり、ダンスで自己表現をして、皆で楽しむ。皆で一つのショーを作り上げることで学年の壁をなくして楽しむ。学祭を僕等のダンスで盛り上げたい。	
49	ストリートダンス部	映画を通して外国の言語や文化に触れ合い、皆と交流する。	
50	m & m's	映画作品の制作、上映、公募展等への出品。また、映像を通して色々な分野での幅を広げる。	
51	名芸映像研究部	子ども達に特別な「遊び」を提供するために活動するクラブ。遊びの中から新しい発見をしたり。汗をかいて走りまわる環境や時間を子どもたちと共有し、体験する。	
52	チェアーズ		

# 親の想い

## 娘の決断

美術学部 美術学科 洋画コース  
1年 母 真野久美子

今春、名古屋芸術大学に入学した娘が、無事に前期授業を終えようとしています。振り返りますと、私の学生時代とは異なる学生生活に、感心し感謝をしています。それは、先生方の熱心な指導のもとに学校に馴染んで楽しく生活をいているからです。そして学校と家庭とのパイプもいくつか感じます。

思い起こせば、進路を決めるまでに長い忍耐が試されました。娘と向き合う大事な時期に、母親である私が生死をさ迷う危険な状態であった。そのため娘に対して、声もかけてあげられず又相談にのってあげることもできない苦悩の長い日々が経過していきました。そんな状況の中で娘は、どんなにか不安な日々を過ごしていただろう。私は、ただ娘の進路が、希望とおりに決まることを祈るしかできなかったです。

それでも貴女は、私を気づかい、悩むそぶりも見せず弱音も吐かず、自分の進む方向を自分で決めて、目標に向けて諦めずに頑張っていました。そして決断していったようでした。

娘から「私は、このことをやりたい。」と言われた時の日の娘の様子を、今でもハッキリと鮮明に覚えています。それから、日々努力の毎日だったに違いない。最後まで自分の目標を失わず、強い意志をもちながら常に前向きにチャレンジしていた娘に、拍手を贈りたい。

そして待望であったこの名古屋芸術大学に入学できました。大学生活は、スタートしたばかり……。これからたくさんの人に会い、多くのことを学ぶだろう。この時にしか出来ない事に挑戦し、充実した4年間の学生生活を過ごして欲しいと願わずにはいられない。

せっかくこの世に与えられた人生、悔いをのこさないように前進してほしいと願います。



## 子どもの力に驚く日々

美術学部 美術学科 彫刻科  
1年 母 飯田康子

どの親御さんにとって、いつまで経っても子供は心配かつ気がかりな存在だと思います。息子も人と言葉でコミュニケーションをとることが苦手で小さい頃から一人で何かを作ることが好きでした。それが高じて芸大に入るようになったのですが、親としては自分の得意とする分野を進んでいってもらいたいと思う気持ちは他の親御さんと変わることがないのでは思います。

そうかといって本人は何が何でもこちらの道に行きたいという真剣さがこちらには伝わってきたくなく、本当にこの子は芸大に行きたいと思っているのかなという疑問すら感じていました。

こんな様子でしたから大学へ入ってもこの子はやっつけいけるんだろうかと心配していましたが、実際に入ってもこんな気持ちを裏切る出来事が続いて驚きました。

今年のゴールデンウィークにマンモスフリーマーケットに出店するとかで自分で古着をリフォームしてエコバックをたくさん作り、それまでミシンなど家庭科の授業以外には使ったことがなく使い方を私に聞きながら作っていました。それがとても斬新な作り方で見ていて楽しかったです。何かを達成するために何が必要でどうすればよいのかを計画して実行する力があるということに驚いていました。

次は将来NPOを立ち上げたいだと言ってまたまた驚きました。障害を持っている子に作品を作る楽しさを知ってもらえるような活動ができるNPOを作りたいといわれました。そんなことを考えていたとは思ってもみませんでした。

結果的にその方向に行かなくても初めの目標から変わっていったとしても自分はどうしたくて、そのためには何が必要かを考えていたことがとてもうれしかったです。

人には良くしよう、伸びていこうとする力が自然に備わっているんだなと感じました。この先挫折や失望があったとしてもこの子の成長しようとする力を楽しみに見守って行きたいと想います。



# 子の想い

## 大学生になって

音楽学部 演奏学科 弦管打コース  
1年 富田祥子

大学生になって5ヶ月が経ちました。まだあまりよく分かっていないところが多々あって、とりあえず今やるべきことしかできていない状態ですが、なんとか大学生生活を送っています。大学では高校や中学と違って自分から周りの人に聞いていったり、こまめに掲示板を調べたりしないと取り残されてしまうので、自分から能動的に行動していかなければいけないという点でぼんやりしてられないなと感じます。

弦管打コースでは、楽器ごとに練習部屋があるので、そこに行くと大抵は先輩がいらっしやって、お喋りしてくださったり、勉強を教えてくださいたりして、とても優しく感謝しています。また、先輩や友達が練習していたりするのを見ると、私も練習しなくてはと意識させられます。こういうことがあるので、まだたったの5ヶ月ではありますが、自分なりに初心を忘れずにいられるのだと思います。

次に、私が大学で楽しみにしている授業はオーケストラや室内楽などの合奏と、バロック時代の楽器を弾くことのできる器楽特殊研究、そして自分のレッスンをさせていただき弦管打奏法研究です。合奏は大人数の演奏者が集まってこそ成り立つ授業なので、芸大の音楽学部ならではの授業だと思います。OGの先輩もいらっしやってくださいるので、すごく勉強になります。器楽特殊研究は音の質や響き、それから弾き方も現代の楽器と違うので新鮮です。レッスンは自分一人だけの音を先生に聴いていただいて、毎回怒られたり、時には褒めていただけて、自らの音を形作る最も重要な基盤になっていると思います。

それから、声楽やピアノコースなどの違うコースの友達ができただけでも新鮮です。専攻は違ってもお互いやっていることは音楽なので、一緒に苦しみや楽しみを共有してくれるのが嬉しいです。

そして、今の私の目標の一つ目は教職を取る事です。音楽の先生は非常勤でさえなるのが大変なようですが、将来、人に音楽を教えるという立場になったときに習ったことを役立てたいと思います。二つ目は、自分の演奏技術をもっと高めて、表現力をつけることです。これは今だけに限らず、一生の目標だと思います。上辺だけではなく、人の心まで届くような演奏をできるようにしたいです。

まだまだ未熟者ではありますが、名芸大で一生懸命4年間を過ごしていきたいと思います。

## 大学生になって

音楽学部 音楽文化創造学科  
ジャズ・ポップス選択コース 1年 萩 智太郎

私は幼いころから、恥ずかしがりのため人前で、歌ったり躍ったりすることが苦手でした。それでも「幼稚園のころは、こっそり講堂でひとり太鼓をたたいて遊ぶ子供だった。」と母から聞いております。特に才能などはありませんが、「音」に興味があったことは事実です。



高校では、上級生から勧誘されて軽音楽部に入りました。ベースギターを初めて手にしたものの、楽譜が満足に読めないで音を出そうにも何も分からず、もっと音楽の勉強をするべきだったと後悔しました。が、友達先輩の力を借りて次第に上達しました。仲間と演奏する楽しさに取りつかれ、2年には学園祭で、ステージに上がり全校生徒を前に生演奏したことが強く印象に残っています。

卒業後は継続してギターを学びたかったので、名古屋芸術大学を受験しました。幸いに合格したときは嬉しかったです。当初両親は名芸大進学に難色を示していましたが、やがて理解が得られ今はたいへん感謝しています。

最近になって学生生活にも慣れました。自由で自主性を重んじる学風のなかで、思う存分好きな楽器に触れることができ、音楽の理論から徹底的に教育していただき充実した日々を送っています。

楽器類は自由に使用できるそうですが、保管室には多種多様な楽器が用意されており驚きました。なかには、博物館にあるような外国から取り寄せた高価で稀少なものが、楽器の歴史文化にも触れてみたくなりました。それによりジャズ・ポップス以外の音楽について知ることができるのではないかと考えています。また学友も増え自分と違った個性豊かな仲間と語りあえ人間として成長している気がします。

学部学科の垣根を越えて幅広く人と交流し学生らしく、楽しく4年間を過ごしたいと思います。

## TOPICS *pick up*

### 「パリ・エコール・ノルマル音楽院副学長による特別講演と 同校&名古屋芸術大学音楽学部との交流作品演奏会」が行われました。

2010年5月6日(木)名古屋芸術大学東キャンパス3号館音楽講堂において、パリ・エコール・ノルマル音楽院副学長 Jean Louis Mansart 氏による特別講演「印象派の音楽について」と、同音楽院と本学音楽学部との交流作品演奏会が行われました。これは、昨年12月15日にパリ・エコール・ノルマル音楽院のホールで、両校の初めての交流演奏会が行われ、大変講評を博したことから今回本学で開催されることになったものです。

第一部として行われた特別講演で Jean Louis Mansart 氏は、印象派の音楽について、フランスの最も代表的な作曲家ドビュッシーの作品「アラベスク」と「喜びの島」を紹介しながら、ドビュッシーがこれまでのロマン派音楽からどのようにして近代音楽への流れを創ったかについて詳しく解説講義してくださいました。

第二部は両校の交流作品演奏会で、まず、本学音楽学部教授堀田秀雄の作曲「逍遙一笙・箏とピアノのための音楽」が、笙 大庭さやか氏、箏 大川知奈美氏と、ピアノ 釣由美氏で演奏され、続いて本学教授田中範康作曲の「詩曲Ⅱークラリネットとピアノのためにー」が、クラリネット 竹内雅一、ピアノ 山田敏裕両教授のデュオで

演奏されました。最後は、Jean Louis Mansart 氏作曲の「TROIS DANSES ー pour piano ー」が山田敏裕教授のソロで演奏され、交流作品演奏会を終了しました。

作曲理論・ピアノ・サウンドメディア各コースの学生をはじめ、講堂を埋めた聴衆にとっては、日仏交流のすばらしい音楽作品演奏を満喫することのできる公開講座となりました。



Jean Louis Mansart 氏と通訳の中沖玲子氏



「逍遙」の演奏



「TROIS DANSES」の演奏



「詩曲Ⅱ」の演奏

### 蔡國強氏による火薬絵画の制作が 本学体育館で行われました！

火薬を利用したアートに取り組み、中国を代表する現代美術作家として、国際的に高く評価されている蔡國強氏による新作の火薬絵画の制作が、名古屋芸術大学西キャンパス体育館で8月18日(水)に実施されました。

蔡國強氏は中国福建省泉州市出身で、ニューヨーク在住。中国四大発明の一つと言われる火薬を用いたダイナミックな爆発インスタレーションで知られ、日本でも数多く展覧会を開催。2008年には世界中を巡回する大規模な回顧展を開催。さらに、北京オリンピックのビジュアル・ディレクターを務めるなど、大きな話題を集めているアーティストです。



完成した火薬絵画

今回の制作は、8月21日(土)より行われる「あいちトリエンナーレ」に出品するためのもので、作品制作は2日間にわたって行われました。初日の作業は、前日の8月17日(火)に愛知芸術文化センター10階で行われ、巨大な和紙に水槽を泳ぐ人物と魚の影を写して下絵が描かれました。2日目の作業が下絵に添って火薬を配置し、一気に爆発させるもので、この制作作業が本学体育館で行われました。

当日の制作作業は原則非公開で、制作スタッフとトリエンナーレ関係者、愛知県政記者クラブ・中部芸術文化記者クラブの報道関係者と、本学の教職員及び学生の希望者のみに公開されました。

午前10時から始まった準備作業では、蔡國強氏の指導のもと制作スタッフと共に、本学美術研究科院生9名から成る制作支援のボランティア・スタッフ・チームによって、下絵に描かれた人物や魚をダンボールの厚紙に添って切り抜く作業が午後2時ころまで時間をかけて行われました。美術文化コースの学生7名もボランティア・スタッフとして受付および場内の安全確保に当たりました。なお、院生と美術文化コースの学生は、前日の愛知県美術館での作業にも支援に加わりました。

体育館中央に設置された巨大な和紙4枚(縦3m横計16m)に切り抜いた下絵が配置され、全体の火薬絵画の構成が出来上がりました。そして、一つひとつの人物や

魚の絵ごとに、下絵をくりぬいた型を当てて、その型の中に火薬の粉をまく作業が時間をかけて丁寧に行われました。蔡氏は自身の感性で火薬粉の量や種類を微調整しながら、火薬絵画の完成図をイメージしているようでした。最後に、まかれた火薬の上に切り抜かれた下絵が再度当てられ、その上をシールや厚紙などで覆って、仕上げ作業が終了しました。

いよいよ点火です。蔡氏が導火線に火をつけると、閃光と共に炎と白い煙が立ち上がり、一面が煙と火の海に覆われました。燃えかけている箇所をスタッフが急いで消火して、爆発作業が終了しました。

覆っていたシールや下絵をはずして火薬絵画が完成しました。4枚の和紙が体育館の舞台に置かれ、舞台が正面に立てられて火薬絵画の全貌が出現しました。火薬の爆発による焦げ目が濃淡織り交ぜて和紙に写し出された見事な絵画が出来上がりました。

この作品(作品名:美人魚)は、あいちトリエンナーレの会場である愛知芸術文化センターに展示されています。



下絵を切り抜く準備作業をする学生スタッフ



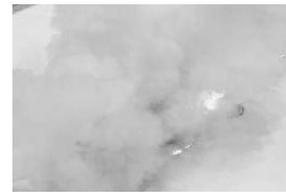
火薬粉をまく



並べた下絵を調整する蔡國強氏



導火線に点火



爆発の瞬間 立ち上がる炎と白煙

## 名古屋芸大「伏見地下街ギャラリー」が8月17日にオープンしました。

名古屋芸術大学の伏見地下街ギャラリーが、あいちトリエンナーレに先駆けて、8月17日にオープンしました。

場所は、地下鉄東山線伏見駅栄方面行きホームから直接繋がる伏見地下街の中間になります。ここは昭和の雰囲気が残るレトロな地下街です。

トリエンナーレ期間中は、本学デザイン学部の各コースの紹介展示を毎週交代わりで展示します。その後も、名古屋デザインウィーク、特別客員教授萩原修ディレクション展別会場、デザインレビュー展、卒業制作展別会場として、いろいろな企画展が行われる予定です。是非、お立ち寄りください。

【開廊営業時間】 AM 7:30 ~ PM 8:30

※トリエンナーレ期間中(8/21~10/31)は日曜日もオープンしています。



◇第1回企画展  
「おやつどうぐてん」  
8月17日(火)~22日(日)



ちょうみりばうしか 2,000yen



卵白コシ一掴み 2,500yen (受注生産)



おやつこもり 2枚 1,200yen



パンわらい 500yen



トレード・パレット 300yen (参考商品)



今日のコーヒースプーン 1,500yen (参考商品)

## 人間発達学部の学生たちによる「おはなしミュージックアワー」が大盛況に行われました。

人間発達学部の1年生有志3名が9月10日にオリジナル手あそびや大きな紙芝居を、岐阜県羽島市児童センターと瑞穂市つどいの泉の2会場、各100名あまりの観客の前で披露しました。

読み聞かせや手あそびをアコースティック生演奏をバックにこどもたちと楽しみました。未就学児を中心とした親子参加が多くみんなで楽しいひと時を過ごしました。

アコースティック生演奏が雰囲気を盛り上げて、学生たちは新しい試みに確かな手ごたえをつかみました。

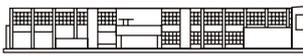
〈参加学生〉 小山紗世さん 五郎丸優香さん 鶴見真里さん



## アート&デザインセンター 2010/2011 展覧会スケジュール

2010	
3月28日(日)～4月14日(水)	デザイン学部選抜レビュー展
4月23日(金)～4月28日(水)	写真部展
4月23日(金)～4月28日(水)	HANDS展
5月7日(金)～5月12日(水)	創作折紙作品展
5月14日(金)～5月19日(水)	最近メンタル弱くなったんじゃない?
5月14日(金)～5月19日(水)	におい展
5月21日(金)～5月26日(水)	未来へ繋がる運命を信じる幸せな偶然
5月21日(金)～5月26日(水)	Kalevala
5月21日(金)～5月26日(水)	plant <sup>4</sup> 展
5月28日(金)～6月2日(水)	気を抜くな三角形
6月4日(金)～6月9日(水)	「From REMISEN # 12 : Helle Vinter&Marina Pagh」展
6月4日(金)～6月9日(水)	「After REMISEN 12×12」展
6月11日(金)～6月16日(水)	名古屋芸術大学教員展
6月18日(金)～6月23日(水)	地図帳
6月18日(金)～6月23日(水)	fff☆展覧会
6月18日(金)～6月23日(水)	shine
6月25日(金)～6月30日(水)	洋画1コース3年展
7月2日(金)～7月7日(水)	2010年度 前期交換留学生作品展
7月9日(金)～7月14日(水)	present - 洋画2コース選抜展 -
7月16日(金)～7月28日(水)	素材展
8月17日(火)～9月2日(木)	2010年度夏の企画展 「Unique Commons - わたしだけのみんなのもの -」 名古屋芸術大学美術学部卒業生展 ※会期中無休、12時閉館
9月15日(水)～9月21日(火)	「版の方法論 #5 ;バンコクと名古屋から」展
9月24日(金)～9月29日(水)	To, New Soft A Sculpture 新ソフトスカルプチュアへ
10月1日(金)～10月6日(水)	小林尚美展 田中千世子展
10月1日(金)～10月6日(水)	卒業生たちの今、テキスタイルを学ぶ先にあるもの。展
10月8日(金)～10月13日(水)	大学院同時代表現研究制作洋画展
10月11日(月・祝)～10月13日(水)	アーツ!ラジオ a"art RADIO!展
10月15日(金)～10月20日(水)	「アート&エコ・マッチングプロジェクト in NUA」展
10月15日(金)～10月20日(水)	「Hand Hospeace ; 医療と美術」展
10月22日(金)～10月27日(水)	名古屋芸術大学大学院 洋画制作展
10月29日(金)～11月3日(水・祝)	「遭遇するドローイング ; ハノーファー&名古屋2010」展
11月5日(金)～11月10日(水)	彫塑コース作品展(仮称)
11月12日(金)～11月24日(水)	2010年度秋の企画展 萩原修 ディレクション(仮)
11月26日(金)～12月1日(水)	MCDデパートメント
12月3日(金)～12月8日(水)	2010年度 後期交換留学生作品展
12月3日(金)～12月8日(水)	「幼稚園児たちのゲイジツ」展
12月10日(金)～12月15日(水)	メディアデザインコース作品展2010
12月17日(金)～12月20日(月)	工芸領域学生展覧会
12月21日(火)～12月22日(水)	卒業制作展 学内審査
2011	
1月7日(金)～1月12日(水)	日本画3年作品展
1月14日(金)～1月19日(水)	美術学部コース展
1月20日(木)～1月26日(水)	卒業制作展 学内審査
1月28日(金)～2月1日(火)	「After REMISEN # 12 ; 石倉悦加+加藤美奈子」展
2月1日(火)	版画コース 卒業制作最終審査

◎スケジュールは変更になる場合がありますので、事前の確認をお願いいたします。

Art & Design Center 

名古屋芸術大学アート&デザインセンター 〒481-8535 北名古屋市徳重西沼65番地 tel.0568-24-0325 tel/fax.0568-24-2897

# 後援会授業料貸付事業

昨今の底の見えぬ不況の中で決して安いとは言えない芸術系大学の授業料は、家計を直撃しているのではないかと思います。こうした状況の中で、保護者が亡くなられたり病気になられたり、失業された家庭は大変だと思います。このような家庭の学生諸君の少しでも助けになればと考えて始められたのが、後援会の授業料貸付事業です。1993年にこの事業が始まってから、現在までに70数名の学生がこの事業の恩恵を受けています。

後援会員の皆さんが納められた会費を、この事業の基金としているため、いくつかの条件がありますが、次の貸付規程を読まれて、後援会の授業料貸付事業を活用していただけたらと思います。申込受付窓口は、各キャンパス教務学生課となっています。気楽に相談してみてください。

## 名古屋芸術大学後援会学費資金等の貸付規程

### (目的)

第1条 名古屋芸術大学後援会(以下「後援会」という。)が行う学生の福利厚生事業の一環として、家計急変等により学費の納入が困難な学生に対し、後援会が学費を貸し付けることにより修学を援助することを目的とする。

### (定義)

第2条 この規程により学費の貸付を受ける者を、名古屋芸術大学後援会学費貸与生(以下「貸与生」という。)と称する。貸付する学費を名古屋芸術大学後援会貸付金とする。

### (資金)

第3条 学費貸付金は次の資金をもってこれにあてる。  
 (1)後援会学費貸付口座預金  
 (2)この規程に基づく返還金  
 (3)寄付金・その他の収入

### (貸付額)

第4条 該当学年の学生納付金半期分以内とする。  
 2 貸付金は無利息とする。  
 3 未返済金がある者に対しては、貸し増しは行わない。

### (貸付方法)

第5条 学費貸付は、大学授業料口座への振込みによって行う。

### (審議)

第6条 貸与生及び貸付額の決定に関しては、学生部長が大学の全学教務学生委員会の審議を経て、後援会会長に推薦する。

### (貸与生の決定)

第7条 貸与生の決定は、後援会会長が行なう。

### (貸与生の選考基準)

第8条 貸与生の選考基準は、以下に基づいて選考する。  
 (1) 1年以上継続した本会会員の子弟であること。  
 (2) 家計急変等のため本学に修学することが、特に困難であること。  
 (3) 応募者の属する世帯の1年間の総所得金額が独立行政法人日本学生支援機構の収入基準以下であること。  
 (4) 修学に十分耐うるものと認められること。

### (申請手続)

第9条 学費貸付を希望するものは、次に掲げる書類を後援会会長に提出しなければならない。  
 なお、手続は学生部教務学生課を窓口とする。

(1) 後援会貸付金借用願

(2) 貸付金返済計画書

(3) 学費貸付希望者の所属する学科長の推薦書

(4) 学費貸付希望者の属する世帯の1年間の総所得金額を証明する書類。

### (借用手続・借用証書)

第10条 学費貸付決定者は、次に掲げる書類を後援会会長に提出しなければならない。

- (1) 借用証書(借用願と同じ保証人および連帯保証人の連署を要する)
- (2) 貸付金返済計画書に基づく同意書
- (3) 銀行口座振替依頼書(自動送金サービス用)(学籍を離れる時に提出するものとする)

### (返還及期間)

第11条 貸付金は、学籍を離れてから3年以内で返還しなければならない。ただし、借用願出の際に虚偽の記載があった時は、直ちに返済するものとする。  
 2 返還方法は、一括返済または元金均等割とする。  
 3 貸付金の返還は、いつでも繰り上げて返還することができる。  
 4 返還は、学生部教務学生課を窓口とする。

### (返還猶予)

第12条 貸与生が傷病・その他やむを得ない事由によって返還猶予を願い出たときは、相当と認める期間猶予することができる。

### (権限委任)

第13条 この規程に基づく学費貸付金の貸付手続き及び返済收受等の一切の権限を学長に委任するものとする。なお、この規程で疑義が生じたときは、会長と学長が協議のうえ決定する。

### (改廃)

第14条 この規程の改廃は、後援会の総会の議を経て会長が行なう。

### 附則

- 1 この規程は昭和61年7月1日から適用する。
- 2 この規程は昭和63年4月1日から適用する。
- 3 この改正規程は平成16年4月1日から適用する。
- 4 この改正規程は2005年(平成17年)4月1日から適用する。

## 名古屋芸術大学後援会会則

- 第1条 本会は名古屋芸術大学後援会（以下「本会」という）と称し、事務局は名古屋芸術大学内におく。
- 第2条 本会は名古屋芸術大学の教育方針に基づき、大学諸活動の後援を目的とする。
- 第3条 本会は前条の目的を達成するために、次の事業を行う。
- (1) 学生の課外活動への援助と学生の福利厚生に関する援助。
  - (2) 大学の正常な運営への寄与と、保護者の希望を大学に反映させる活動。
  - (3) その他本会の目的達成に必要と認める事業。
- 第4条 本会は名古屋芸術大学学生の保護者または、これに代わる者及び役員会が認めた本学卒業生の保護者をもって組織する。
- 第5条 本会に次の役員をおく。  
会長1名、副会長4名、監事1名、会計監査2名、書記2名、会計1名。
- 第6条 本会の役員選出は次の方法による。
- (1) 役員は総会において会員の中から選出する。
  - (2) 書記、会計は役員の中から会長が委嘱する。
  - (3) 役員の任期は1カ年とする。但し再任は妨げない。
- 第7条 本会役員の任務は次の通りとする。
- (1) 会長は会務を統括し、副会長は会長を補佐、会長事故ある時はその代理をする。
  - (2) 監事は会務を監査する。
  - (3) 書記、会計は会長に委嘱された会務を行う。
- 第8条 本会の会議は総会、役員会とし、議長はその都度選出する。
- 第9条 定期総会は原則として年1回、5月に会長が招集する。必要と認めた場合は臨時総会を開くことができる。
- 第10条 総会は次の事項を審議・決定する。
- (1) 事業の実施、収支決算及び予算に関すること。
  - (2) 会則の改定、会の解散に関すること。
  - (3) 役員を選出、その他の役員が必要と認めた事項。
- 第11条 総会は出席会員で成立し、議事は出席会員及び出席者に委任した者の過半数をもって議決する。
- 第12条 役員会は出席役員で成立し、会長が招集、議事は出席役員の過半数で議決する。役員会は総会への提案と決定事項の実施、運営にあたる。
- 第13条 本会に顧問をおくことができる。顧問は役員会の承認により、会長が委嘱し、会長の要請により各会議に参加し意見を述べる。
- 第14条 本会の経費は、会費及び寄付金をもってこれにあてる。会費は入学時16,000円、2年次以降年額10,000円とする。
- 第15条 本会の会計年度は4月1日より翌年3月31日までとする。
- 第16条 本会則の運営に必要な事項は役員会の議を経て会長が定める。
- 附 則
- 1 本会則は昭和62年6月22日から実施する。
  - 2 本会則は昭和63年6月12日一部改正し、即実施する。
  - 3 本改正会則は平成10年5月31日から実施する。

### 名古屋芸術大学後援会の甲意に関する内規

1. 学生が死亡したときは、担当者からの申請に基づきその家族に対し、甲慰金1万円を給付する。
2. 保護者（父・母）が死亡したときも、担当者からの申請に基づきその家族に対し、甲慰金5,000円を給付する。
3. 役員2親等血族および1親等の姻族が死亡した場合は、甲慰金として5,000円を給付する。
4. 甲慰金の給付については、事由の発生から1年以内に後援会事務局に申請されたものに限る。
5. この内規により処理できない場合は、会長の判断により執行し役員会に事後報告する。

附則1. この内規は、慣例的に実施していたものを平成15年4月1日付けで明文化する。

附則2. この改正内規は、2006年6月1日より施行する。

### 名古屋芸術大学後援会顧問の委嘱に関する内規

1. 名古屋芸術大学の顧問は、原則として、役員会の承認に基づき、会長、副会長経験者の中から会長が委嘱する。
2. 顧問の任期は、会長経験者は15年、副会長経験者は10年とする。
3. この内規に基づき処理できない場合は、会長の判断により執行し役員会の承認を得るものとする。

附則 この内規は2005年（平成17年）4月1日から適用する。

# 学校法人名古屋自由学院決算報告

## 平成21年度決算について

### ①消費収支の概要

(単位：千円)

科 目	前 年 度	当 年 度	増 減
<b>消費収入の部</b>			
学生生徒等納付金	3,965,244	4,036,261	71,017
手数料	63,107	57,144	△5,963
寄付金	16,081	7,332	△8,748
補助金	442,188	405,681	△36,507
雑収入他	205,903	174,339	△31,564
<b>A 帰 属 収 入 計</b>	<b>4,692,523</b>	<b>4,680,757</b>	<b>△11,765</b>
基本金組入額	△168,723	△100,000	68,723
<b>B 消費収入の部合計</b>	<b>4,523,799</b>	<b>4,580,757</b>	<b>56,958</b>
<b>消費支出の部</b>			
人件費	2,875,207	2,971,595	96,389
教育研究経費	1,443,805	1,411,868	△31,936
管理経費	422,737	406,273	△16,464
借入金等利息他	8,148	7,692	△456
<b>C 消費支出の部合計</b>	<b>4,749,897</b>	<b>4,797,429</b>	<b>47,532</b>
<b>B - C 消費収支差額</b>	<b>△226,098</b>	<b>△216,672</b>	<b>9,426</b>
<b>A - C 帰属収支差額</b>	<b>△57,374</b>	<b>△116,672</b>	<b>△59,297</b>

平成21年度は、消費収入の部合計は45億8千万円となり、前年を56百万円上回りました。主な原因は、帰属収入は11百万円減少しましたが、基本金への組入額が68百万円減少したことによります。消費支出の部では、人件費が29億71百万円と前年より96百万円増加、教育研究経費が31百万円、管理経費が16百万円それぞれ減少し、支出の部合計では47億97百万円となりました。帰属収支差額は1億16百万円の支出超過、消費収支差額は2億16百万円の支出超過となりました。

(注)千円未満四捨五入(端数処理の関係で合計金額等が一致しないことがあります。)以下も同様

### ②貸借対照表の概要

(単位：千円)

科 目	前 年 度 末	当 年 度 末	増 減
<b>資産の部</b>			
固定資産	16,531,865	16,363,572	△168,291
有形固定資産	13,988,334	13,698,900	△289,435
その他の固定資産	2,543,530	2,664,672	121,141
流動資産	3,769,076	3,740,114	△28,962
<b>資 産 の 部 合 計</b>	<b>20,300,940</b>	<b>20,103,686</b>	<b>△197,255</b>
<b>負債の部</b>			
固定負債	775,746	706,021	△69,725
流動負債	1,112,027	1,101,170	△10,858
<b>負 債 の 部 合 計</b>	<b>1,887,773</b>	<b>1,807,191</b>	<b>△80,582</b>
<b>基本金の部</b>			
1号基本金	19,630,729	19,611,908	△18,821
3号基本金	200,000	300,000	100,000
4号基本金	348,000	348,000	0
<b>基 本 金 の 部 合 計</b>	<b>20,178,729</b>	<b>20,259,908</b>	<b>81,179</b>
<b>消費収支差額の部</b>	<b>△1,765,562</b>	<b>△1,963,412</b>	<b>△197,850</b>
<b>負債・基本金の部 消費収支差額合計</b>	<b>20,300,940</b>	<b>20,103,686</b>	<b>△197,255</b>

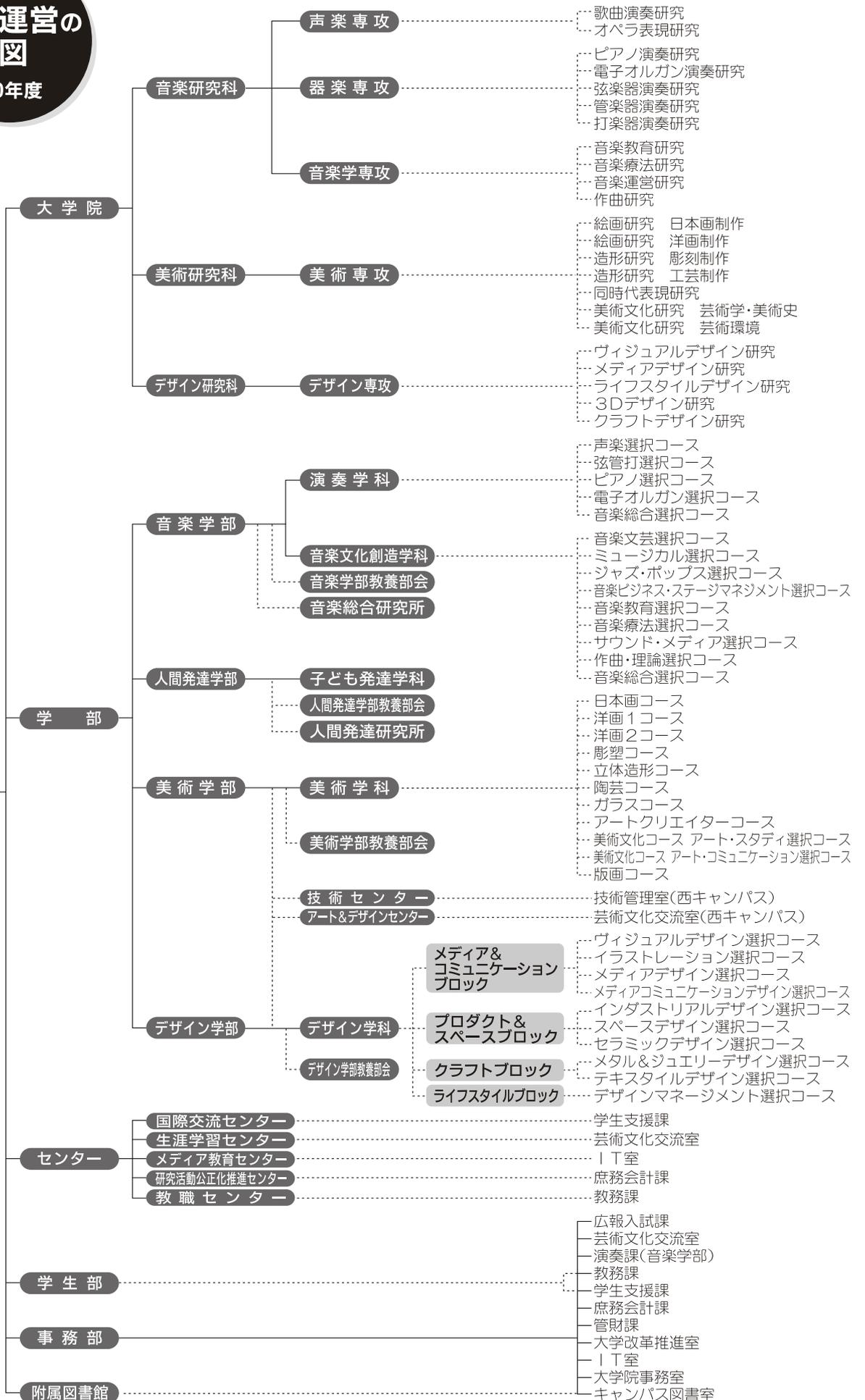
平成21年度末の資産総額は201億3百万円で、前年に比べ197百万円減少しました。また、負債総額は18億7百万円で、前年に比べ8千万円減少しています。

自己資金構成比率(=(基本金+消費収支差額)÷(負債+基本金+消費収支差額))は91.0%(前年は90.7%)と高い比率で推移しています。

## 大学運営の組織図

2010年度

大学



## 「木祖セミナーハウス」をご利用ください

### 利用目的

木祖セミナーハウスは、共同生活を通じて相互の理解を深め、親睦を図るとともにスポーツや自然と親しむといった福利厚生を目的としています。主にセミナー・合宿等の学校行事、教職員の研修の場として利用する他、厚生宿泊施設として利用できます。



### 利用できる方

- ① 本学院傘下の学校の学生・生徒（生涯学習等含む）及び園児及びその家族
- ② 本学院の教職員（退職者及び非常勤講師・非常勤職員を含む）及びその家族
- ③ 本学院傘下の学校を卒業・卒園した方及びその家族
- ④ ①～③に掲げる利用者から紹介された方で、管理責任者が特に利用を認めた者
- ⑤ その他、木祖村の行事等で管理責任者が特に利用を認めた者

### 利用期間

12月30日の宿泊から1月2日までを除く通年。但し、9月の第2土・日曜日は休業

### 施設利用料

1泊1名分の利用料は次のとおりです。（食事代は含みません。）

①	②	③	④	⑤	⑥
本学院の園児 （〃 卒園で中学生以上の方）	本学院の 学生・生徒 （〃 卒業生）	本学院の教職員 及び退職者	①～③の家族	①～④の紹介	木祖村の行事等 関係者
500円 (2,000円)	1,000円 (2,000円)	1,500円	2,000円	5,000円	2,000円

※④～⑥の利用者の同伴者で、3歳から小学校6年生までは各利用者の半額、2歳までは無料

#### ●食事の予約について

食事希望の方は予約が必要です。{1名分 朝食500円 夕食1,500円(小学生以下750円)}

バーベキュー：7月～9月までの限定。料金1,800円(小学生以下1,500円)

### 問い合わせ・申し込み先

下記へ電話で仮予約をしてください。その後の手続きは、その時にご説明します。

〈学校法人名古屋自由学院 法人事務局総務部総務課 TEL: 0568-24-0311〉

### 交通アクセス

所在地：〒399-6203 長野県木曾郡木祖村小木曾4793 TEL & FAX: 0264-36-2570

#### ◆自家用車利用の場合

①中央自動車道中津川インターより国道19号約90分 菅より村道約15分

②中央自動車道伊那インターより国道316号(権兵トンネル)経由国道19号約30分 菅より村道約15分

#### ◆公共の交通機関を利用する場合

JR中央西線 藪原駅下車

①村内巡回バス(10月～3月の土・日・祝祭日は運休)バス停「辺見屋敷」又は「スキー場」下車 徒歩15分～20分

②タクシー利用約15分 やぶはらタクシー(要予約 TEL: 0264-36-2403)

### 付近の観光スポット

- ・こだまの森(テニス、プール、パターゴルフ、多目的運動場、バーベキューハウス、巨大迷路、溪流釣り等)
- ・やぶはら高原スキー場
- ・木曾福島、上松、寝覚の床、野麦峠、上高地、白骨温泉、乗鞍高原等

### 編集後記

今年梅雨明けと共に、7月は猛暑が続き熱中症で倒れる人、亡くなる方も過去最悪とのことでした。また政事の世界では、今回の参議院選挙で民主党が敗れ俗にいうねじれ国会になり議員の方々は、まだまだ明るい兆しが見えてこない経済そして政治、与野党関係なく頑張っていたいただきたいものです。

そんな中サッカー日本代表チームは、ワールドカップ大会での善戦本当によくやってくれました。テレビからでも伝わってきました。それから私をもう一つ感動させてくれたのは、小惑星探査機はやぶサです。何十億キロも宇宙を旅して、アクシデントにも負けず地球に戻ってきたという出来事です。こんないろいろなことが起きる毎日、自分自身何をすればよいのか分からなくなりますが、まあ、焦らず自分自身目の前のやるべき事を少しずつつかたずけて行こうと思っています。

広報委員長(副会長) 原田昌央

- ◆発行 名古屋芸術大学後援会  
〒481-8503  
愛知県北名古屋市熊之庄古井281番地  
TEL. 0568-24-0315 FAX. 0568-24-0317
- ◆編集 名古屋芸術大学後援会 広報委員会
- ◆表紙デザイン  
本学デザイン学科学生 武藤理恵子
- ◆封筒デザイン  
本学デザイン学科卒業生 福見光洋
- ◆発行日 2010年(平成22年)9月30日

